

中岳



平成23年度 社団法人熊本市歯科医師会臨時総会
平成23年度 社団法人熊本市歯科医師会臨時代議員会
第1回 熊本城マラソン



熊本市歯科医師会会誌

第156号

目 次

巻頭言	齊藤忠継 理事	1
平成23年度社団法人熊本市歯科医師会 臨時総会		2
臨時代議員会		5
市長表敬訪問		7
いきいき未来のつどい		7
平成23年度 歯磨き巡回指導(後期) 報告		8
平成23年 救急蘇生法講習会		10
平成23年度 第2回学術講演会		12
第13回日本歯科医療管理学会九州支部学術大会		15
寄稿 ～愛すべきゴルファーへ～ 実話ゴルフ川柳	中央支部 秋山 清	19
2012 熊本市歯科医師会新春懇親パーティー		20
平成23年度 第2回国立病院機構熊本医療センター・ 熊本市歯科医師会連絡協議会		22
味生祭歯科啓発報告	南部 古川猛士	24
スタディー		
修復治療における診査診断と治療ゴール	清水歯科クリニック 清水幹広	26
移動理事会 ～カニ三味編～	瀬井知己	30
天はわれに味方した！悪魔に打ち勝った私	齊藤忠継	33
第1回熊本城マラソン大会		34
熊本城マラソン全員完走までの道程	東部3 奥田良樹	36
走ったん(ダ)！「熊本城マラソン」報告	東部3 小野秀樹	38
熊本城マラソンAEDモバイル隊奮戦記	南部 鈴木憲久	42
新入会員紹介		45
スポーツの広場		47
会務報告		48
編集後記		

表紙のことば

「第1回熊本城マラソン」スタートの写真

本当は熊本城をバックに撮りたかったのですが、配置ポイントと報道陣の多
さでこれが限界でした。

(鈴木憲久)

巻 頭 言

幸せってなんだろう!?



齊藤忠継理事

第2期清村執行部も残すところ1年となり、「時」の経つのが如何に速いかをしみじみ感じている処です。私が地域保健委員会の理事を仰せつかって3年が経ちますが、委員時代からの年月を振り返ると、感慨深い物を感じています。今年は平成生まれの歯科医師が世に出て来るらしいですから、いよいよ私なんかは正真正銘の旧人類になるのでしょうかね!

目を世間に移しても、凄まじい速さで変化している事についていけなくなって来ています。変わって無いのは、診療報酬の点数ぐらいでしょうか?やれ何パーセント上がったとマスコミに書きたてられても、実状は変化無し!! 世間はデフレ不況で活気が無く、かろうじて黒字を上げているのは一部の大企業。こんな暗い話題ばかりの昨今、ふと考える事が有ります。「幸せってなんだっけ~なんだっけ?」かつて明石家さんまさんが歌っていましたが、この歌をついつい頭の中で口ずさんでいる自分がいます。そして次の瞬間「私は幸せなんだろうか?」と自分に問いかけています。

「幸せ」とは私が言うまでも無く、本人がそう思えば「幸せ」で有って、その大小を比べる事には意味が有りません。より大きな幸せを求めていけば、それは「欲」になり、欲に支配されれば、生き方を誤ります。

昨年「国民幸福度」世界一と言うブータン国王夫妻が来日されましたが、得も言われぬ「気品」と「自信」に満ちたご夫妻だった事を記憶しています。あの雰囲気は、先進国の国家元首達には見られない趣で、単に「国王」だからという物とも違う気がしました。

我が国から見ればGDPも低く貧しい国に見えるのに、国民は「幸せ」を感じていると言う事が、今の日本人には一番判りにくい事かも知れません。

当然、医療水準も日本とは比べ物にならないでしょうし、歯科医師の所得にも雲泥の差が在るのでしょう。しかし「幸せ」を感じられる国!! たとえ裕福では無くても、日本に大震災が起これば、国民は祈りを捧げ、すぐ義援金を送れる国!! この様な国が実在しているのも事実です。

かつて日本も十分「美しい国」と言われて来ましたが、それは景観の美しさのみならず、其処に棲む人々の「心根」が美しかったのではないのでしょうか?みんなが「身のたけ」を知り、分をわきまえて生きていた時代が有ったのではないのでしょうか?ところが今はどうでしょう?政治は腐敗し、官僚は保身の為に過ちを犯しても、頭を下げる事を忘れ、大企業や銀行ですら、儲ける為なら何でもやる時代です。こんな時代に、わが子に「美しく生きなさい」と教えても酷な気がします。しかし、このままで私たちは良いのでしょうか?おそらく心の奥底では誰しも良しとは思っていないでしょう。ならば、人の体を診る事を生業としている我々医療人こそ、率先して「美しさ」を取り戻した生き方をして行きたいものです。

きっと其処にはささやかでも「幸せ」が見つかる気がしてなりません。

～公益法人改革へ向けていよいよ秒読み～

—— 平成23年度社団法人熊本市歯科医師会 臨時総会 ——



11月26日（土）午後7時より、県歯会館3F市会議室において臨時総会が開催され、市歯科医師会新定款の承認と公益法人改革への対応などの協議が行われた。

1. 開会 古川猛士常務理事

2. 議長および副議長選出

議長 矢毛石豊先生

副議長 片山晃紀先生

3. 議事録署名人選出

関 剛一先生

元島博信先生

4. 物故会員に対する黙祷

工藤昭臣先生（H23. 9. 4 御逝去）

津野田壽先生（H23.10. 5 御逝去）

上野穰一先生（H23.11.25御逝去）

5. 会長挨拶



【要旨】この数年本会員で亡くなられた方が多く、特に診療中に若い先生が亡くなられる事もあり少しショックを受けております。どうぞ会員の先生方もお体ご自愛下さい。

1週間仕事を終わってお疲れの中、土曜の夜の総会に足をお運びいただきまして誠に感謝いたします。

本総会は臨時総会として、議案は第1号議案の1本だけです。この議案は本会の新定款に関する承認を頂くというのが趣旨であります。定款に付随していろんな諸規則もありますが、本臨時総会におきまして定款案の本体を審議後賛同していただければ、本臨時総会を開いた意義があるというものでございます。年明けの3月には通常総会もあります。その場でも施行の規則なり細かい所は皆様と一緒に考えていくチャンスもあります。今現在3月末の新しい一般社団法人への登記移行を目指している所です。

なおこの1号議案に関しましては、先ほど行われた代議員会で執行部が気づかなかった点をいくつか指摘も受けております。非常に大事な議案ですので活発な議論をして頂き、賛同いただければと思います。また協議でもいくつか皆様にお諮りしたい点がありますので、その点もよろしくお願いいたします。



6. 庶務報告 古川猛士常務理事

7. 代議員会審議経過報告

宮本浩幸代議員会議長

8. 議事

第1号議案 熊本市歯科医師会新定款（案）
の承認を求むる件

藤波好文副会長の提案理由説明の後、渡辺猛士専務理事からの新定款の説明がなされた。出席者の先生方より多くの質問や意見が出され、活発な議論が行われた。その後、第1号議案は承認可決された。

9. 協議

1) 公益法人改革への対応

（執行部）公益法人審査会に新規の一般法人並びに今回承認いただいた新定款の認可をいただくため、12月20日に開催される直近の審査会に間に合う様必要書類を提出し、3月の総会後に登記することを予定しております。

この流れで行くと、現執行部の任期をほぼ変更なく次の新しい法人に移行する事が出来ます。また県歯及び日歯が計画しているタイミングと合致いたします。

もし3月中に登記不可能の場合には、定款の一番後に初年度の役員の任期を1年短くするというような文言を特別にとりつけてそれを提出する形で対応します。

2) 入会時における年会費の取り扱いについて

（執行部）現在一般会員として入会される先生には、入会時に入会金と年会費という形で54,000円を頂くという形になっています。この金額は4月に入会しても、3月に入会しても同じです。

入会していただく先生方の負担を少しでも軽

くする事を考えて、これも月割りで徴収したらと考えています。次年度よりこの形にさせていただきたいと考え協議として出させてもらうとともに、来年3月の通常総会で議案として提出させてもらおうと思っております。

また、矯正単科会員と自費診療のみの先生方も月割りの計算で徴収させていただこうと考えております。

3) 親子会員に関してのアンケート結果

（執行部）6月の代議員会におきまして中央支部の方から、「親子会員という立場がありながら、これで入会される方が少ないのでどうにかならないか？」という質問がありました。それを受けて親子会員のアンケートを取らせていただきました。

現在どなたが親子で診療されているかこちらでも把握しかねますので、50歳以上の会員ならば親子で診療されている可能性があるのではと考え、該当する先生にアンケートをお送りして44名の方から回答をいただきました。（表1）

その中で「子供と一緒に仕事をする様になり、同窓会の先生が理事になっておられ、対外活動で忙しいのをお手伝いさせようと思い連絡しましたが、理事会でダメと言われ県歯の親子会員にしました。もう少し市歯も窓口を広げていただければと思います（原文のまま）」という回答がありました。

このいきさつは、委員会の任期が来て新しいメンバーを組まないといけなくなった3月に、「そういえばあの先生の息子さんが帰ってこられて一緒にされているので、その若先生に入ってもらおう」という事でお話をしました。そうした折、委員会活動に協力いただくことを快くご承諾いただき、「それでは親子会員ということで入会をお願いします」と言いました所、「いや、それはちょっと困る」と。しかし、こちらとしても会員でない方に委員になっていただく訳にはいかないので、「今回は…」というお話をしました所、これが「ダメと言われた」という表現になってしまったと思われます。

いろいろ考えましたが、市歯科医師会も現在

勤務会員というのがございます。この立場は月1,000円の会費でございまして、委員会の委員にもなっていていただく事も出来ますし講演会や研修会の参加も出来ます。ただ議決権はありません。この会員になっていただくと委員会にも御協力いただくことは出来るかと思えます。

また、この親子会員がもう少し上手く機能するように、我々としてもこれから協議していきたいと思っております。将来新法人となりまして公益法人としてのめどがつかましたら、6年のうちの4、5年ぐらいの所から入会初期の負担金等の表1

減額も考えておりますので今よりも随分入っていただき易くなるという風に考えております。

4) 会費未納者の取り扱いについて

(執行部) 平成21年11月に退会された先生で会費が14,482円未納の方がいます。退会された時から現在まで毎月督促状を出してはりましたが、未だに入金がありません。もう2年も経っていますので来年の3月まで督促を続けても入金が無い場合、3月の総会で欠損処分という議案を出させてもらいたいと考えております。

10. 閉会 藤波好文副会長

<親子会員についてのアンケート結果>

回答：44名（送付者数：200名）

【質問1】現在の診療状況について

- 1) 事業継承を予定する子供と一緒に診療している……………7名
- 2) 歯科医師の子供はいない……………23名
- 3) 歯科医師の子供はいるが、事業継承の予定はない……………3名
- 4) 事業継承を予定している子供はいるが、現在は同一診療所にいない……………10名
- 5) 歯科医師の子供はいるが、一緒に診療していないし、将来事業継承するかなどは未定…1名

【質問1】で1) とお答えいただいた先生へ

【質問2】本会未入会の理由はなんですか？（複数回答あり）

- 1) 入会金の負担が大きく、継承時まで入会を先延ばししている……………3名
- 2) 現在、親子で入会した場合のメリットが特に有とは思えない……………6名
- 3) 国保負担金や均等割会費の支払いが発生するのが支障である……………3名
- 4) その他（できれば具体的にお書き下さい）

- ・勧めてはおります。
- ・2年後入会予定。
- ・親子会員は親が死亡したり、廃院したら継承するのだから、必要経費（参加費等）だけとれば良いと思います。
- ・子供が帰り、一緒に仕事する様になり、同窓会の先生が理事になっておられ、対外活動で忙しいのをお手伝いさせようと思い親子会員にと思い連絡しましたが、理事会でダメと言われ、県歯の親子会員にしました。もう少し市歯も窓口を広くしていただければと思います。

*その他の4番目の意見ですが、正しくは県歯の勤務医会員です。

（広報 鯨川正和）

新定款を承認、新法人認可申請へ

—— 臨時代議員会 ——



11月26日（土）午後5時30分から県歯会館3F市会議室にて、平成23年度社団法人熊本市歯科医師会臨時代議員会が行われた。

1. 点呼 古川猛士常務理事

2. 開会 宮本浩幸議長、秋山 清副議長

3. 議事録署名人選出

北部3支部 温 永智先生

東部2支部 上原凡由先生

4. 物故会員に対する黙祷

北部2支部 工藤昭臣先生

平成23年9月4日御逝去

東部2支部 津野田壽先生

平成23年10月5日御逝去

東部4支部 上野穰一先生

平成23年11月25日御逝去

5. 会長挨拶

週末の貴重な時間にお集まりいただきありがとうございます。

本日の議案は、公益法人制度改革に関する一本です。平成21年度に会務検討臨時委員会の答申を受け、取り組んでまいりました。新法人への準備は、9合目まで来ております。残る仕事を確実に達成したいと考えています。新定款案の御審議、協議題の協議よろしくをお願いいたします。

6. 庶務報告 古川猛士常務理事

7. 議事

第1号議案 熊本市歯科医師会新定款（案）
の承認を求むる件

北部3支部からの事前質問の1つが定款に関する事項のため、これから審議が開始された。

（北部3）熊本市歯科医師会定款第2章第4条（目的）の2行目の「社会の健康」とは、「社会の健全化」という意味でしょうか？それとも「地域社会の人々の健康」という意味でしょうか？

（執行部）「社会の健康」という表現はその両方の意味を含むと考えている。

（北部3）「社会の健康」と言い方には多少違和感を感じる。

（執行部）定款上の表現をめぐる行政との交渉の中で、ある方向へ指示がなされ、多少納得いかない場合もあり、それでもそれに従わざるを得ないケースがあることは事実です。

（執行部）支部の区分けは政令指定都市移行により変化する可能性があります。

（北部3）会長が選任される際に、総会での予備選の決定と理事会での結論がくい違う場合はどうなりますか。

（執行部）任期終了時の通常総会時に先に会長候補者を選出し、その後の定時総会で、会長候補を含め理事選挙で理事として選出することになるので、理事の互選でくい違うことはまずないだろうと考えている。

例えば理事10名で6名が右で4名が左ということであれば、6名の方から会長がでるだろう。会長を選んだのも総会、理事を選んだ



のも総会ということです。

(北部3) 理事は総会で選んだものではないのではありませんか？

(執行部) 一般社団法人での理事は総会により決定されます。総会の意志が反映されなければ、会務は執行できないのですから、万が一そういう事態が生じて、それは総会、すなわち会員の意志ということです。

その後議決され、第1号議案は可決承認されました。

8. 協議

(1) 公益法人改革への対応

(執行部) 新定款の承認をいただいたので、総会での議決を得たのちに、認定申請をしたいと考えている。来年3月の総会のあとの登記をめざす。認定審査会の決定がいつおりるかは定かではないが、本会としてはなるべく3月に登記という線ですすめていく。

(北部3) 将来は公益法人をめざすと考えていますか。

(執行部) それは常に考えておくことです。ただ現時点ではリスクが高すぎるということです。

(北部3) 財産がたまっていることはないですか。

(執行部) 以前の代議員会、総会でも説明させ

ていただいた通り、今ある財産をある年数(現在考えているのは6年)で使いきる形にしています。その分各年度の経費がうくのでその財産がそのまま残っていく形です。

(2) 入会時における年会費の取り扱いについて(執行部) 入会時の年会費は従来、入会月にかかわらず徴収していましたが、現在は月割りでいただいております、既会員と同じ方法となっています。

(3) 親子会員に関してのアンケート結果(執行部) 同アンケートは200名の会員に送付し、44名の回答を得た。

現在の診療状況についての回答は、

- 1) 事業継承を予定する子供と一緒に診療している……………7名
- 2) 歯科医師の子供はいない……………23名
- 3) 歯科医師の子供はいるが、事業継承の予定はない……………3名
- 4) 事業継承を予定している子供はいるが、現在は同一診療所にいない……………10名
- 5) 歯科医師の子供はいるが、一緒に診療していないし、将来継承するかは未定……………1名

という結果を得た。

本会未入会の理由(複数回答あり)としては、入会金負担が大きいので継承時まで先延ばしにしている。親子で入会するメリットが無い。

国保負担金は均等割の支払が支障となる。等の回答を得た。

(中央) すばやく対応していただき感謝します。

未入会のため、若い力を委員会活動などに生かせないのが残念です。

9. 閉会 稲葉逸郎副会長

(広報 前川研二)

コラム1

お勧めのディスク

Jimmy Page Playin' Up A Storm

ページブレイク前の発掘物です。ブルースをレッスン中のポップギタリスト、といった感じですね。古めのスタイルが好きな方はどうぞ。

学校におけるフッ化物応用の実現を目指して

——市長表敬訪問——

1月4日仕事始めにあたり例年通りではありますが会長、副会長と共に熊本市長を表敬訪問して参りました。今年はいよいよ政令指定都市への移行ということもありますが、我々にとっては歯科保健推進条例の遂行、特に学校におけるフッ化物応用の実現を目指す第一歩となる大事な年でもあります。

現在、行政と歯科医師会で大枠として合意し

ている各区におけるモデル校の選定とフッ化物洗口の実施という大きな目標があります。今回の訪問では市長から「是非やりましょう」という力強いお言葉をいただいて参りました。執行部としても幾多の壁は既に見えておりますが、何としてもこの業務は遂行せねばと考えておりますので会員の皆様も何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。



第28回いきいき未来のつどい

北保健福祉センター管内地域成人保健研修会（通称：いきいき未来のつどい）が2月25日午前10時より清水市民センターで約130名が参加し、開催されました。4月に熊本市が政令指定都市になることで、「未来に向けて 北保健福祉センターから北区へ」がテーマでした。高齢になっても病気や障害があっても安心して暮らせる地域づくりを目指して、保健・医療、福祉、地域、行政の24団体が一堂に会し、それぞれの抱えている問題をお互いの役割に気づき連携し、一貫したサービスを提供することを目的にしています。

第1部は①区制について：村上誠也氏（熊本市政令指定都市推進室）が講演（詳細は各家庭に配布されている「政令指定都市に移行に伴うお知らせ」をご覧ください）。②地域包括支援センターについて：鶴川直子氏（地域包括支援センター北3緑）がセンターの意義や業務内容や住民の困りごとについて話されました。政令市移行で1部担当校区の変更もあるそうです。第2部は参加者全員で健康体操をし、女子小学生熊本応援バンド「Book Bear」の元気な演奏を聴き、ハイヤ民謡日本一の西川栄子さんによる牛深ハイヤの披露がありました。第3部は実行委員長の米満弘之先生（熊本機能病院理事）の“いきいき未来のつどい”の歩んだ道と将来の期待を講演され、これまでの活動（①シンポジウム・講演会 ②保健・福祉に関する情報の提供）と合併した植木町と共に発展させようの内容でした。

平成23年度歯磨き巡回

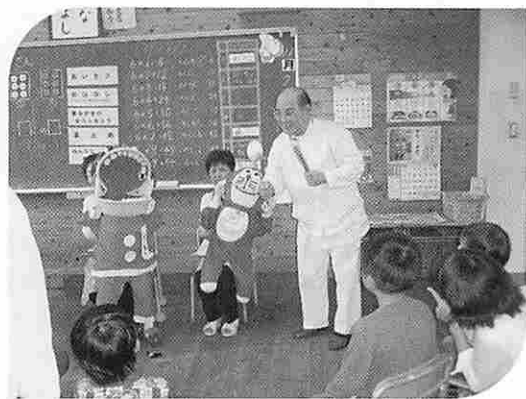
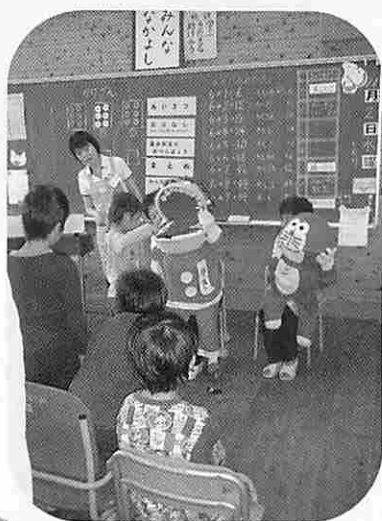


平成23年度歯磨き巡回指導を、今年10校中の後期分である11月2日(水)の尾ノ上小学校からはじまり22日(火)の一新小学校まで4校、3年生11クラス+4年生1クラス、特別支援学級3クラスに行いました。

後期も問題なくとはいかなくて、放送室からビデオの一斉放送がうまくいかなかったり、一新小学校においては、一週間前に連絡があり、実施時間が5時限目から3時限目に変更されたため、何とか校医の山根先生と衛生士会の方がやりくりしていました。どうやら学校側と健康教育課とうまく連絡がいていないようです。でも学校によっては、大型液晶TVがあり映像がよく見えたのではないのでしょうか。

今回から、水を大切に使用するために、うがいを少なくするように指導したのですが、難しかったようです。

11月2日(水)の尾ノ上小学校では、児童の学ぶ姿勢がよく、忘れ物もなく、2~3名の保護者の見学もありました。「大変良かった」と感想をもらいました。また、東保健福祉センターの平松衛生士さんや8020推進員さんのお手



指導後期(11月) 報告

伝いがあり、大変助かりました。

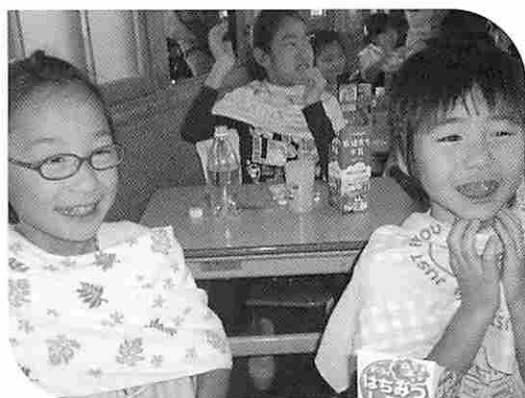
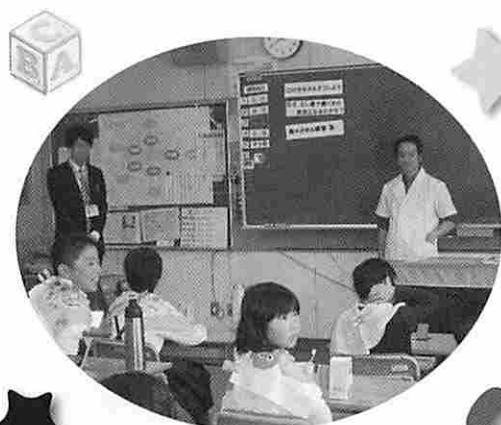
各自、赤染め綿棒で染め出ししてもらうのだが、なかなか歯に付けてくれなく、また中には、十分に歯牙についていない(染め出されていない)児童もいるようで、ざわつき始めて時間をとられてしまうのが難点です。

子ども達が使用している歯ブラシは、子どもに適した小さめなものでなく、ホテルの大人用、携帯用が多くみられたため、事前に学校側への説明が必要と思います。

どうしても1時間45分では時間が足らず、事前予習などを行ってもらいスムーズにできないものかなと思いました。また歯磨き指導が終了した後、かたづけるため手洗い場が混雑してしまうのも問題です。

今回ご協力くださった学校歯科医の先生と同伴の衛生士さん、熊本県衛生士会熊本市支部の衛生士さん、8020推進員さんありがとうございました。

今回の子どもの感想で「歯みがきは奥が深い」との発言がありました。まさしくその通りです。



(学校歯科 井手裕二)

平成23年度 救急蘇生法講習会

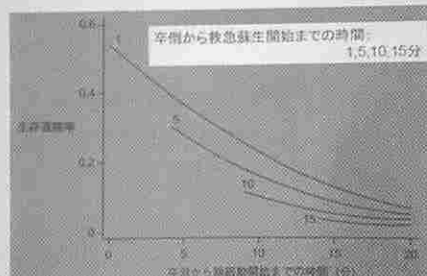


11月10日（木）午後7時30分より、143名の参加のもと、国立病院機構熊本医療センター2Fの地域医療研修センターにおいて救急蘇生法講習会が開催された。始めに清村正弥会長の挨拶があり、その後早速講演が行われた。今回は、歯科の救急蘇生講座～Basic Life Support (BLS) を中心に～という演題で、国立病院機構熊本医療センター麻酔科の小寺厚志先生による講演が行われた。



全国で歯科治療中における心肺停止症例・ショック症例は、55年間（1950年～2004年）で約200症例認められ、このうち死亡例は126例であった。この数字は、決して高いものではないが、何時遭遇するか分からないというのが現状であり、日頃からの訓練が必要であると話された。

生存率と蘇生開始までの時間
および除細動開始までの時間との関係



次に、救急蘇生の現在の考え方は、以前は救急蘇生ABCであったが、現在は救急蘇生のCBAであると説明があり、C（胸骨圧迫）による血流（特に脳に対する）の回復をいかに早く開始するかが最も重要であると強調され実際の手順の説明に入った。

まず、胸骨圧迫および気道確保についての説明があった。胸骨圧迫は、胸骨の下半分に手を置き（あまり下過ぎてはいけない。成人では両乳首を結んだ線の中央付近を目安に）、片方の手の上にもう片方の手を重ね、腕をまっすぐに伸ばして（肘を曲げない）、強く（5 cm程度）早く圧迫し（1分間に100回の割合）確実に戻す。

実際に行う場合には、胸骨圧迫30回と人工呼



吸2回を1サイクルとし、5サイクル（約2分かかる）行い、救助者は交代する。これを、救急隊の到着、AEDの到着または負傷者が回復するまで続ける。途中、動画を交えながらとても分かりやすく説明があった。

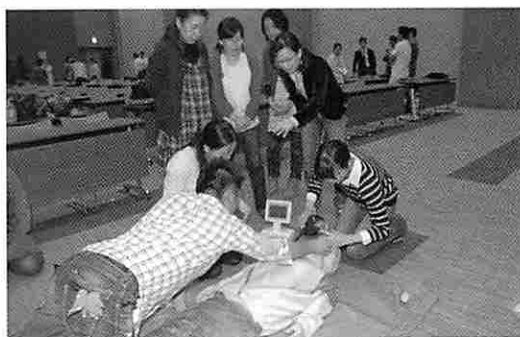
次に、AEDについての説明があった。AEDとは、心電図を自動で解析する装置であり、すなわちショックが必要であるかないかを自動で解析する装置である。心室細動や心室頻拍などの除細動が必要な時には、ショックボタンを押す（押すのは、手動）。また除細動が不要と解析された場合には、胸骨圧迫と人工呼吸を30：2で、ひたすら続けて救急隊の到着を待つことになる。生存率と蘇生開始および除細動開始までの時間との関係では、卒倒後1分で蘇生および除細動を開始したとしても生存率は55%である。さらにAEDの到着が、5分遅れると、生存率は20%減少する。すなわち、人命を救うには、いかに早く蘇生を開始するか、いかに早く除細動を行うかにかかっていると強調された。



その後、AEDの使用法および注意事項の説明があった。電極を貼るときの注意事項としては、水分をよく拭き取る、胸毛が濃い時は剃る

などする、経皮的貼付薬剤の上には貼らない、ペースメーカーからは約3cm離すなどである。また小児では、8歳以上であれば成人用の電極パッドを使用する。8歳未満で小児用のパッドがない場合は、パッド同士を接触させないことを条件に成人用のパッドを使用してもかまわないとの事であった。最後に、AEDの導入により心肺停止症例の致命率は上昇したが、到着までに迅速に救急蘇生を開始することも重要であることは言うまでもない。このために、正確で確実な心肺蘇生手技を身につけておく必要があると締めくくられ講演は終了した。

講演後は、4つのグループに分かれて、2人1組で麻酔科の先生の指導の下、専用の人形を



用いた実技を体験し、理論だけではなく実際に救命処置を体験し、いざというときに何をするべきかを実践的に学んでいた。

日々診療中に何が起こるかわからないので、院長だけではなくスタッフも含めて救急救命の研修を受けることは重要だと感じている。また、日常で倒れている人や事故、災害時に家族を助ける可能性もあり、緊急時に迅速に正確に対応することは、医療従事者としての責務と言える。

救急蘇生法は、頭では解っているつもりでも、いざその現場に遭遇すると思うように動けないものなので、このような講習会を利用して、実践も含めて研鑽を重ねることが大切だと思うので今後も継続的な参加をお願いしたい。

（医療管理 片山晃紀）

『子どもと大人と同じコミュニケーションを』

平成23年度 熊本市歯科医師会第2回学術講演会

11月26日(土)、午後3時より熊本県歯科医師会館4F大ホールにおいて、熊本市歯科医師会主催の平成23年度第2回学術講演会が開催されました。

講師は、鹿児島県霧島市でご開業されている宮川尚之先生で、「小児歯科専門医院の小児歯科臨床」という演題で講演されました。



大きく3つのテーマに分けて講演は行われ、以下にその要旨を説明します。

- ①日常臨床でよく遭遇する症例、またその治療上の注意点
- ②小児歯科専門医院での診療上の工夫点
- ③小児歯科におけるスタッフマネジメント

まず、①について、乳歯と幼若永久歯の外傷の処置の話でした。

1. 歯髄振盪→歯根膜の出血と浮腫

(処置)：経過観察

(注意点)：歯髄死の可能性あり。電気診は正しい反応しない。微小なクラックが入っているので常に感染を念頭に置く。

2. 転位→水平方向の衝撃による歯槽壁の挫傷および骨折

(処置)：整復、固定。固定は2～3週間。局所の消毒、抗生物質投与による感染予防。

(注意点)：歯根に外部吸収が認められたら、水酸化カルシウムでの根管処置を行う。

3. 挺出→歯周靱帯と歯髄への神経脈管の断裂

(処置)：整復、固定。根尖側に血液がたまっている、それが排除されるようにゆっくり整復する。陳旧例では歯根膜の炎症性破壊が起こっていたり、整復が不可能となっている場合が多いために抜歯になる事も多い。整復が上手くいけば予後は良い。

4. 陥入→外傷による衝撃が歯軸方向に加わり、歯髄とすべての支持組織に最大の損傷。



(処置)：歯根未完成歯では自然萌出まで経過観察。歯根完成歯では矯正の挺出。

(注意点)：上顎乳中切歯では、まっすぐ陥入すれば永久歯胚に影響はない。下顎前歯は永久歯に重大な障害を残す。予後が悪いので予防的な感染根管処置は絶対にしない。永久歯の場合、陥入が2mm程度なら、整復、固定。2～5mmなら、2mm整復し、1か月固定。6mm以上なら、2mm整復し1週間固定、その後マルチブラケットで牽引する。

5. 脱落→挺出と同じ。歯根膜細胞さえ生活していれば予後良好

(注意点)：再植は歯槽窩がきれいな場合に限る。水洗、ティッシュにくるむことはダメ。

歯牙の保存；保存液＞牛乳＞唾液＞水＜空気
幼若永久歯の脱落に関して。

(処置)：新鮮なものは再植固定。30分以内→固定は少し弾性がある方がよい。骨折がなけ

れば1週間固定。30分以上→固定の弾力性は影響しない。期間は2～3週間。

(注意点)：根完成歯では固定除去直前に根管処置。根未完成歯では外部吸収が認められたら直ちに行う。

6. 歯の破折

・露髄を伴わない場合

(処置)：受傷直後は、破折面を必ずCRで塞ぐ。受傷後1か月で歯根膜と歯髄の評価後に歯冠修復。

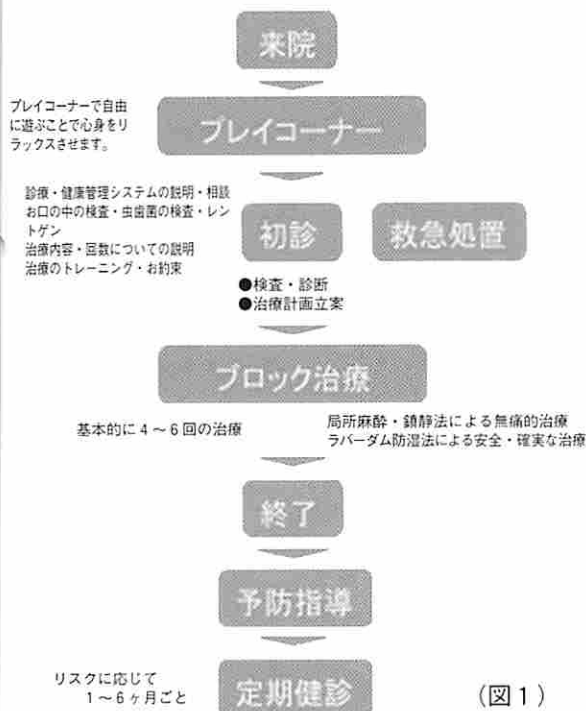
・露髄を伴う場合

(処置；受傷直後)：点状露髄、脱臼による循環不全がない場合は直接覆髄。生活断髄は、露髄面より1～2mm下部で滅菌生食水を使用し行う。デンチンブリッジの確認の為、造影剤の入っていないペーストを使用。

(処置；受傷1～3か月後)：歯根膜と歯髄の評価。直覆、断髄の評価と水酸化カルシウムの除去、歯冠修復。歯髄感染及びその疑いがあるものは抜髄。

・歯根破折の場合

(処置)：臨床症状の見られない場合は経過



観察。動揺が著しい乳歯は抜歯。永久歯の場合は3か月以上の固定。

(注意点)：破折部で歯槽骨吸収が認められたら歯冠側の根管処置、但し、根尖側破折片はさわらない。

次に、②についてですが、小児患者をいかにうまく治療に参加させるかという“行動管理”を中心とした話でした。

基本的な治療の流れは、図1に示します。

大切なことは、治療や予防の意味を、本人、



保護者によく理解してもらい、治療に主体的に参加してもらうこと、小児の治療に対する障壁が何かを探り、それに対する解決法を考えることが重要である、と説明されました。“何のために治療するのか”、“治療されるのではなく、治療して頂く”、“治療は先生がするのではなく、私がする”、“治療したことや、泣かずにできたことが偉いのではなく、約束を守れたことが大事”。これらのことをよく理解してもらう説明方法や、ツールの活用は、私たちの日常臨床に大変参考になるものでした。



そして、ここから継続する予防指導、定期健診にスムーズに移行していく為には、チームワークがカギになってくるということです。

最後に、③のスタッフマネジメントについての話です。

私たち開業医にとって、スタッフに関する色々な悩みは、常につきまとう問題でしょう。スタッフ教育という言葉もよく耳にしますが、どんな時でも言われることは、院長のセルフマネジメント、まず、自分から始める、自分から変わることの重要性でしょう。院長自身が明確な目標を設定し、全てのスタッフは、この目標を達成するために働く、院長の夢を実現させるために集まったメンバーだということです。

講師の先生は、まず2011年の医院目標を次のように“世界基準になる”と、設定していました。

- ・世界基準とは医院経営の全てに説明がつく事である
- ・世界基準とはその説明を英語で出来る事である
- ・世界基準とは外国からの見学者が訪れる医院である
- ・世界基準とはDr. とスタッフが英語で患者対応出来る事である
- ・世界基準とはDr. とスタッフの知識技能が卓越している事である
- ・世界基準とは世界の小児歯科医療レベルに精通している事である

また、理想のクリニックとは…

- ・スタッフが自主的に働き、仲間同士で助け合う
- ・間違っても変な人が入って来ても自然に辞める

- ・スタッフが元気で生き生きしている
- ・院長も生き生きしている
- ・スタッフがキビキビ働く。
- ・勤務時間内に業務が終わる。
- ・タイムカードを押してから自分の勉強をしたり課題に取り組む
- ・スタッフが先輩後輩の分別をわきまえる
- ・スタッフは院長に対して礼を尽くす
- ・新人スタッフがすぐに戦力になり、医院の業務がスムーズになる
- ・業務マニュアルはスタッフが作成し、実態にそぐわなくなったところは自主的に改訂する

院長は、理想のクリニック実現の為の時間をつくる、環境を整える、態度を選ぶ、達成させる。これらが出来てはじめてチームワークが向上すると説明されました。

以上、今回の講演について簡単に説明しましたが、患者さんとのコミュニケーションをはかり、信頼関係を十分に築き治療を開始する。これは、大人、子供に関係なく私たちが常に忘れてはいけないことでしょうか。私たちの日常臨床においても最も基本的なことではないでしょうか。そして、いかに院長の考えをスタッフに理解してもらい、共感していくスタッフを育てるか、その為に必要なことをスタッフ自身に考えてもらい、スタッフに実践してもらっていく。自分が手を抜くということではなく、スタッフに任せることが可能な環境の作り方の話は大変参考になりました。

内容盛りだくさんの、大変有意義な約2時間半の講演会でした。

(学術 大塚昭彦)

〜 コラム2 〜

お勧めのディスク

Ringo Starr-Ringo 2012

リングも長年の酒が抜けたんでしょうか、久しぶりの歌声です。カントリー風の曲は相変わらずですが、貫録はずいぶん出てきました。余裕の歌声。

「医療現場を通して、歯科衛生士学校のカリキュラムを考える」 ～教育現場と医療現場のギャップを埋めるために～

第13回 日本歯科医療管理学会九州支部学術大会



11月13日（日）午前10時より大分県歯科医師会館にて日本歯科医療管理学会九州支部学術大会が開催された。

「医療現場を通して、歯科衛生士学校のカリキュラムを考える」～教育現場と医療現場のギャップを埋めるために～というテーマで講演が行われ、本大会で大分県歯科医師会副会長でもある脇田先生、支部長の野田邦治先生、副会長の尾崎哲則先生の開会の辞に続き、講演が始まった。

特別講演1「歯科衛生士の診療補助業務」

～まず、歯科医が歯科衛生士法の理解から～

日本歯科医療管理学会 常務理事

白土 清司

本来このテーマは、日本歯科医療管理学会会長の高津 茂樹先生が話される予定であったが、病氣療養後最近退院されたばかりで静養中のため、代理で白土先生が以下の通り説明された。

日常の歯科診療所において歯科衛生士に力を発揮してもらうためには、まず歯科医師が歯科衛生士の業務をよく理解することから始める必

要がある。

歯科衛生士法で規定されている主な業務は「歯科予防処置」、「歯科診療の補助」、「歯科保健指導」の3つであるが、それに対して補助業務は医療現場でどの位理解されているのか？を法的な面から考察するため、本学会四国支部でアンケートをとり、その結果についてプログラムの中に掲載して説明された。

特別講演2「歯科医療現場を通して、

歯科衛生士学校のカリキュラムを考える」

～職種間の連携を意識して～

東京医科歯科大学 鶴田 潤

歯科医療現場では主たる業務を請け負う歯科医師を始めとして、その業務補助、歯科保健指導、歯科予防処置を行う歯科衛生士、これらに加えて歯科技工士の3職種が法的に業務が定められているが、これら以外にも歯科診療所運営に必要とされる人材は、歯科医療に直接係わらない部分を担ういわゆる「歯科助手」、「受付事務」が上記の職種に加えられる。

「歯科助手」、「受付事務」の職員は歯科医師、

歯科衛生士数を上回る人員で歯科診療所に働いていることが平成20年医療施設（動態・静態）調査・病院報告で報告されている。

これらのことを踏まえて患者保護の観点から歯科医療現場の姿を見つめ直すことで、歯科医療を担う人材としての歯科衛生士育成の在り方が見えてくるのではないだろうか。

また、(1) 平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査の概況 (2) 平成20年保健・衛生行政業務報告（衛生行政報告例）結果（就業医療関係者）の概況を参考に職種間連携の視点から議論された。

特別講演3「歯科衛生士の業務範囲を

歯科衛生士の歴史から考える」

日本大学教授 尾崎 哲則

昭和23年に「歯科衛生士法」は、歯科疾患予防面の充実を図るために「医師法」、「歯科医師法」、「保健師助産師看護師法」と共に制定された。

また、歯科衛生士法制定後の主要な改正として、

- ① 昭和30年の保健師助産師看護師法の一部を解除し、歯科衛生士の業務の中に歯科診療の補助を取り込み歯科疾患の予防から治療にわたる全般の歯科補助者とされるようになったこと。
- ② 平成元年には、歯科衛生士の名称を用いた歯科保健指導がその業務に加えられるとと共に免許権者が都道府県知事から厚生大臣（現：厚生労働大臣）へと改められる等の改正が挙げられる。

なお、養成年限は、法の改正ではなく、歯科衛生士学校養成所指定規則の改正により平成22年度以降は全ての養成機関が3年以上となった。

以上のような流れから歯科衛生士業務と歯科衛生士養成機関での歯科衛生士教育について考えを述べられた。

・一般口演

「期待する歯科衛生士像」

大分県歯科医師会

医療管理委員会 木村 哲也



「どういう歯科衛生士になって欲しいか、どういう歯科衛生士に育ってほしいか」考えてみる際に、まず理想の歯科衛生士とはいったいどのようなスキルをもった人をいうのかその要因を検討したが、こういった資質を持つ歯科衛生士であればどんな歯科医院、病院歯科で働こうとも必ず最高の評価を与えられる要件と思われる。

そこで、「歯科衛生士に必要と思われる要件」は、以下のようなことが挙げられる。

- ・仕事に対する前向きな気持ち
- ・固陋な性格ではなく、人の話をよく聞く人であること
- ・人の話を聞いて、それを理解する国語力
- ・敬語を使いこなせること
- ・相手を思いやる心

つまり「やる気」はあっても、「理解力」つまり「国語力」が伴わないと、プロになる入口にも立てないことがいえる。

「何のスキルが不足しているか」

～アンケートの結果から～

大分県歯科医師会

医療管理委員会 馬場 一影

歯科医療現場をより把握できるように歯科医師18名、および、そこに勤務する歯科衛生士60名に対してアンケート調査を行った。

調査内容は、双方共に経験年数、歯科医療に

対する考え方、歯科衛生士の業務や歯科衛生士としてのスキル評価等である。

歯科衛生士のスキル評価については、歯科医師側から見た場合と歯科衛生士自身による場合であるが、いくつか興味深い結果が得られた。

普段の診療で不足しがちであると思われるスキルはアンケート回答の結果、多い順から

- ・感染予防に対する知識
- ・患者さんへの生活習慣指導
- ・補綴物印象後のTEK
- ・口腔外科時の補助・X線の位置合わせ

が挙げられる。

なかでも生活習慣指導に自信があるのは、10年以上の歯科衛生士経験者36人の中でたった4人だけ、全く自信が無い人が4人もいるという、さびしい結果となった。

これらの対策法としては、①会話力をつける、②敬語を使う習慣づけ、③臨床現場で必要な知識を得る、④国語力をつけるなどが挙げられる。

「衛生士学校のカリキュラムで

テコ入れしたい部分」

大分県歯科医師会

医療管理委員会 木村 哲也

歯科衛生士がその業務を遂行するのに要求される能力は、以下の3点に絞られる。

次の①「歯科における専門的な知識」、②「患者さんや上司の話を理解するための一般教養と国語力」、③「保健指導等の場で専門的知識を使いこなすための会話力」であり、これに加えて「相手に対する思いやり」が付随していれば完璧である。

以上のことから、現在の文部科学省が定めている歯科衛生士養成所規則指導要領を振り返ってみると同時にアンケート結果と臨床の場で求められるスキルについて考察する。

「歯科技工士による義歯ネーム入れ

ボランティア活動」

(医)徳治会 吉永歯科医院

技工部 久木田忠生

医療法人社団徳治会技工部（吉永歯科医院内）では、社会貢献の一環として平成20年より老健施設等において、義歯へのネーム入れ・清掃などのボランティアを実施している。

当初は参加者3名で始まったものが現在ではボランティア協力の登録者数も50名を越え、歯科技工士の社会参画への意識の高まりを感じる。

今回の発表で過去3年間の活動の実績と今後の展望について述べる。

「歯科衛生士に対する医療

安全に関する意識調査」

九州歯科大学総合教育学分野

社会歯科学 福泉 隆喜

九州歯科大学口腔保健学科

健康管理学講座 日高 勝美

歯科衛生士の医療安全に関する意識を自記式アンケートにより調査したところ、多くの対象者が年に数回、誤飲・誤嚥・針刺し等のヒヤリハットを経験しているが、医療安全管理マニュアルの内容は把握していないなどの課題が明らかとなった。

「歯科医師と歯科衛生学生の

歯科医療職協働に関する意識調査」

東京医科歯科大学 大学院歯学総合研究科

歯学教育開発学分野 大学院生

室賀 麗（発表者）、

鶴田 潤、森尾 郁子

歯科医療職協働に関する意識調査を実施し、都内歯科診療所院長222名と歯科衛生学生89名から回答を得た。歯科診療所のスタッフ構成や就業環境に関して学生の回答は現状と一致していないものが多く、また認定歯科衛生士制度の認知度は両群ともに低かった。より現場に即した歯科医師・歯科衛生士教育について考察する。

上記の講演が終了後、笠井先生が座長の下、演者に対して以下の内容で質疑応答があった。

・（質問） 病院や施設等の入院患者の口腔ケ

アに対して、①医師による指導の下
②歯科医師による指導の下 ③協力歯
科医師の下で指導を行うことが出来る
か？

⇒(答え) 基本的に①は法的には×だが、現
実的には行われていることが多い。

②、③による指導の方が安全である。

・(質問) DHの大きな仕事の一つとして、
その人の口腔健康意識向上のために保
健指導を行うことだと思うが、今後の
展開はどうなるか？

⇒(答え) 今までの指導はHow to～だった
が、もっと踏み込んで生活に関わる問
題(点)から改善するような指導になっ
てくると予想される。

以上、今回のキーワードは、主に「歯科衛生

士業務と歯科衛生士養成機関での歯科衛生士教
育を考えよう！」であった。歯科医師が歯科衛
生士の業務範囲をよく理解した上で医療現場に
おいて歯科医療を担う人材としてどのように育
成・教育していくのか？がとても大切である。
同時に国民の健康意識が高まっている昨今、歯
科医療にもより多様なサービスが求められてお
り、それらに対応出来るよう歯科医師と歯科衛
生士、歯科技工士が一体となって協働してい
かなければならないと強く感じた。

また、コンプライアンスが重要視される中で、
もう一度歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工
士法にしっかり目を通し、それに沿った日常臨
床を行う必要性を再認識した。

尚、これらの法律はインターネットで検索す
ると簡単にみられるので、一度チェックされる
ことをお勧めする。



(医療管理 二宮健郎)

～愛すべきゴルファーへ～

実話ゴルフ川柳

中央支部 秋山 清

前は、100をなかなか切れない若手の先生へ向け、ゴルフの考え方を述べさせて頂きました。私自身は伸び悩んでおりますが、数名の先生からやっと100が切れましたとの報告もありうれしい限りです。

今回はゴルフの面白さを、私が経験にしたノンフィクションで川柳風にいたしましたので、診療後の疲れた体に笑っていただけたら幸いです。では…

明日ゴルフ 目覚まし要らずの 3時起き

前日の 練習よければ 要注意

朝イチの ショットで無くす ニューボール

セカンドを 最後に打つのに なぜかダボ

客引きの ように手招き 池バンカー

林から 横に出す気が 浮気して

ニアピンの かかったホールで みな乗らず

お先にと 言っではずして 自滅する

オナーさん OB打つと みな曲げる

シャンク病 忘れた頃に 顔をだす

調子よく 冗談いわず 貝になる

タラレバを 言えば誰もが シングルよ

寄せされず 入れたバーこそ リズム出る

スプーンも 手前ダフれば ただの棒

バンカーを 何度も耕し 穴ほれる

茶小屋でも ビール飲むのが ルーティーン

セルフでは クラブ忘れる 健忘症

五十肩 カミがとれて 好スコア

欲を捨て 意欲を出して リカバリー

考えて 刻むつもりが 池に入れ

珍プレー 先輩のなら 見ないふり

御握りの かかるバットに 阿弥陀仏

ビギナーの 心鍛える 愛のヤジ

トップして レーキに当たり チップイン

水面を 5、6度跳ねて ナイスオン

ドライバー 曲げてもバーを 獲るシニア

お粗末



2012 熊本市歯科医師会



毎年恒例となっております熊本市歯科医師会
詫び申し上げます

今年は直前に婚礼が入っており、1Fの若
ビスさせていただいておりましたが、事前の
今年は1月28日の開催となり、145名の出席
ルシェ」にて盛大に行われました。

清村会長の挨拶の後、来賓としてお迎えし
田健二県歯会長、福島敬祐市医会長、藤川隆
続いて功労賞の表彰に移り、青山雅子先生、
4名が受賞され、受賞者を代表して元島博信



今年の新入会員は植木町11名、城南町8名
先生方のご出席を頂きました。その中より代表し

今年は熊本市が政令指定都市に移行する事
フルマラソンに出場される先生には壇上で目
転車で応援される先生にも壇上で意気込みを
今年のゲストといたしまして、昨年夏のピ
さまにバイオリンとピアノの演奏をしていた

昨年に引き続き恒例のピング大会からくじ
引いていただきました。商品も少数精鋭の
ブな賞品」との観点で検討した結果、「熊本全
るキャラGP1位の「くまもん」シリーズ等を
宴もたけなわの頃、熊本市薬剤師会会長 村
りました。

去年に引き続き熊本全日空ホテルニュース
なりました。至らない点多かったとは思ひ
協力により、無事開催できた事を御礼申し上



新春懇親 パーティー



会新春懇親パーティーにおきましてまずはお

草の間にて受付とウェルカムドリンクをサー
周知が不十分でご迷惑をおかけいたしました。
者を得て熊本全日空ホテルニュースカイ「ア

た熊本市長代理 續幸弘健康福祉局局長、浦
夫県議会議員にお言葉を頂戴いたしました。
河上正先生、堤直文先生、元島博信先生以上
先生にお言葉を頂戴いたしました後、市歯元
会長の関先生による乾杯の御発声の後、宴会
となりました。



を含む総数33名がご入会され、当日は19名の
で城南町の川瀬博美先生にお言葉を頂きました。
からイベントとして熊本城マラソンが行われ、
標タイムを宣誓していただき、AEDを担いで自
語っていただきました。

アパーティーに引き続き島森恵三さまとtomomi
だきました。

引きへと変更し、清村会長にも当たりくじを
「もらって嬉しい」「持ち運びラクラク」「セレ
日空ホテルニュースカイのペアお食事券」、ゆ
ご用意させて頂きました。

瀬元治さまの締めのお言葉によりお開きとな

カイにて新春懇親パーティーを開催する事と
ますが、心優しい執行部・会員諸先生方のご
げます。 (厚生 長忍)



歯科医師会と熊本医療センターのさらなる連携を

— 平成23年度第2回国立病院機構熊本医療センター・熊本市歯科医師会連絡協議会 —

平成23年度第2回国立病院機構熊本医療センター・熊本市歯科医師会連絡協議会が12月19日（月）午後7時より、熊本医療センター会議室にて開かれました。



出席者は熊本医療センターから、院長の池井聰先生、副院長の河野文夫先生、地域医療連携室長片淵茂先生、救急・救命部長高橋毅先生と歯科医長の中島健先生でした。熊本市歯科医師会からは会長の清村正弥先生、副会長の藤波好文先生、専務理事の渡辺猛士先生、医療管理理事の宮本格尚先生と同委員長である私高橋禎でした。

中島先生の司会進行で、まずは熊本医療センター院長の池井聰先生が歯科医師会の先生方に日頃の連携に対するお礼を述べられ、続いて、熊本市歯科医師会会長の清村先生が挨拶され、歯科医師会と熊本医療センターとの連携をさらに強化していきたいと話されました。

そして、協議に入り、医療センターの先生方からの説明がありました。内容は、以下のとおりです。

1. 歯科紹介率について

平成23年度の歯科紹介率は11月まで35.7%で増加傾向にあります。ただ、院内の入院患者は紹介にならないので実際にはもっと高い紹介率になるそうです。また、歯科地域医療支援病院紹介率は38.3%でこれも年々増加傾向にあります。

す。今後、さらに紹介率が伸びるよう努力していくとのことでした。

2. 歯科救急医療について

利用状況について本年度は、すでに11月までで153件で、昨年とほぼ同じ状況です。月によってばらつきがありました。内容は、外傷（交通事故、転落、殴打）が多く、その他、認知症の方の義歯が咽頭に引っ掛かっていた症例や夜間に抗凝固剤を服用している方の歯肉出血などがありました。

3. 救急蘇生講習会について

毎年好評で参加者の多い救急蘇生講習会は来年度も11月8日に例年通り実習付きで開催される予定です。

4. 開放型病院連絡会について

平成23年度第2回開放型連絡会が平成24年2月25日（土）午後6時30分より熊本医療センター2F地域医療研修センターホールにて開催する予定です。今回は総会と特別講演があります。

5. その他 歯科関係研修会について

歯科から医療センターの他科に紹介したい場合、どの科にするかわからない場合は総合内科に紹介してほしいとのことでした。

平成24年度の歯科関係の研修会は、医歯連携セミナーが3回（6月・8月・2月）、熊本摂食・嚥下リハビリテーションセミナーを6回（基礎セミナー4回・アドバンスセミナー2回）、



障害者歯科セミナーを3回、開催する予定です。

また、ドクターヘリの運用が本格的に開始され、熊本県内には2機のヘリが装備され、基本的には現場に向かうのは日赤のヘリ、病院間の搬送を行うのが医療センターのヘリという事で、相互協力をしながら臨機応変に対応していくとの事でした。また、熊本県外の要請にも対応するとの事で、救命率が高まることが期待されます。



最後に、これからも国立病院機構熊本医療センターと熊本市歯科医師会の連携を深めていくことを確認して閉会となりました。

(医療管理 高橋 禎)

コラム3

お勧めのディスク

Allman Brothers Band - Live At The Fillmore East [Deluxe Edition]

オールマンのディスクはフィルモア・ライブとイート・ア・ピーチの二つを聞いとけばそれでいいんですが。

デュアンのボトルネックだけではなく、ブルージーなジャムが堪能できます。オリジナルはLP 2枚に7曲と長尺な曲が詰まってました。このライブ、イート・ア・ピーチはじめいろんなところにちりばめてあったわけですが、CD時代の恩恵か、ついに一つにまとめられました。

たっぷり2時間楽しんだら、次に手にとるのはDerek & Dominos/Laira(もちろんdeluxe版)ですね。

Andy Timmons Band-Plays Sgt. Pepper-

うひゃあ、ありそうでなかったSgt. Pepperの完コピー。ギターテクに打ちのめされます。歌は無し。ベース、ドラムスという3ピースバンドでこれだけのことをやってのけるなんて。クリーム、GFR、いろいろ3ピースバンドはありましたが、この人もすごい。で、ジミ・ヘンのSgt. Pepperにやっぱり手がでる。

Bruce Springsteen - Wrecking Ball

The Big Manクラレンスを亡くしたボスのアルバムです。シングル "We Take Care Of Our Own" いろんな意味で自立しないとイケない私。壊れた地球を救うのは私たち自身にかかっているのです。ボスの叫びに応えることができるのか、弱い私がそこにいます。

フッ化物洗口も盛況

—味生祭歯科啓発報告—

南部支部 古川猛士

日時 平成23年2月12日(日) 9:00~12:00
協力 健康さるく

熊本西・西4地域包括支援センター
池上小学校学校歯科医 古川歯科医
院・8020推進員

参加者 青磁野リハビリテーションセンター
金澤会長、田口さん他スタッフ他5名
新町いえむらクリニック 家村先生
整形外科 金井クリニック 金井先生
熊本YMCA 桑原先生他1名
藤好クリニック 四宮さん
池上小学校学校歯科医 古川歯科医院
8020推進員7名
西4地域包括支援センター2名
西保健福祉センター 島村所長ほか
スタッフ6名

合計 29名

味生祭は、池上小PTAのイベントでちょうどわが子が在学中に始まり、もう20回を数えるほどになりました。食バザーや農産物バザー、ステージイベントなど盛り沢山です。また校区体協主催のクロスカンツリーは、小学校を卒業した中学生や高校生、地域の方にも小学校を訪れてもらえる機会にしよう、また、健康づくりの機会にしようと始められ、学校の裏手にある独鈷山1周2.2km、高低差50mというまじめに走るとけっこうこたえるコースです。私も初回からずっと走ってます。

当初は学校歯科医である私に歯科でなんかやってくれんか、という声がかかり健診、相談コーナーをやっていましたが、2年前くらいから西保健福祉センターに手伝ってもらい8020推進員さんにも協力してもらって、口の健康の啓発をやりました。昨年「健康さるく熊本西」の

先生方にも参加協力をいただくようになり、健康相談、体力測定など充実したコーナーに生まれ変わりました。

地域の皆さんが集まる機会、特に働き盛り世代が多く集まる小学校のイベントは、生活習慣病予防などをテーマにしているさるくの活動としては、絶好のターゲットであり、自分の健康のこと、体力のこと等を意識してもらおうチャンスです。

ブースは10時前から始め、クロスカンツリー出発前まで実質2時間ちょっとでしたが、金澤会長や桑原副会長など8020推進員さんの呼び込みもあって、徐々に参加される方が増え、11時頃をピークにひしめき合っていました。昨年参加された方も多く、少しずつ知ってもらっていることを実感します。今回は、さるくと歯科と一体的に取り組み、健康づくりコーナーとして盛況だったと思います。

測定のあとは、家村先生、金井先生から結果の説明やアドバイスをいただけること、体力測定ではトレーナーの皆さんから指導や説明があること、高齢者疑似体験でも理学療法士や作業療法士さんがついてくれること、健康測定は保健師等がそれぞれの専門を発揮して取り組んでもらいました。

歯科コーナー（学校歯科医 古川歯科医院・8020推進員・西保健福祉センター）健診・かむ力の測定・フッ化物洗口 延べ222名

今回は、さるくと一体的に行い、一緒にしたことで参加者がお互い流れて効果的だったと思います。今回は、新たに入れたかむ力の測定は好評でした。また、フッ化物洗口は、8020推進員さん方が各テントに出張して実施したので、かなりの方に体験していただき、フッ素の効果や安全性を啓発することができてよい活動にな

りました。

＜西保の伊形DHよりイベントの感想が届きましたので、添付しておきます＞

味生祭では歯科コーナーから出張サービスで来場者を巡回し、フッ化物洗口体験をPRして廻りましたが、保護者方の反応はとても良いと思いました。

今回はフッ化物に関する不安を感じ質問される地域住民はいませんでしたし、昨年からの取り組みでいる事もあり、ご存知の保護者も多いと感じました。なにより養護教諭の先生がフッ化物への理解を深めてくださった事が良かったと思います。(校長先生の許可もあり) また、学校に対して「フッ化物洗口」だけの情報提供だと身構えられるので、歯科健康教育(歯磨き指導や歯むしり、歯科媒体の貸し出し)のお手伝いや養護教諭の先生の支援ができる姿勢を見せていく事が、小学校においてフッ化物洗口を実現できる近道になるのではないかと感じています。

池上小学校における健康づくり活動が他の地

域にも広がるといいなと思っています。

○体力測定コーナー(青磁野リハビリテーションセンター・YMCA)

- ☆握力測定 (55名)
- ☆背筋力測定 (47名)
- ☆棒つかみ (55名)
- ☆全身反応時間 (47名)
- ☆片足立ち (50名)

カウントしてないこともありましたので、+@があります。

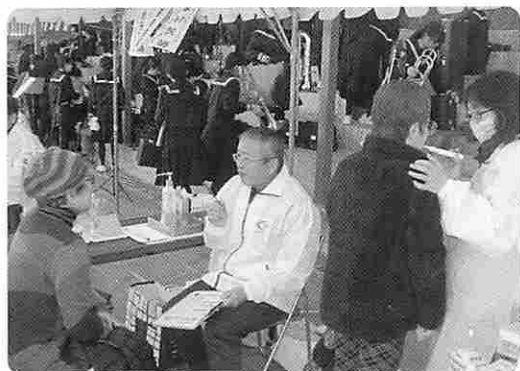
○健康測定コーナー(西4地域包括支援センター・西保健福祉センター)

- ☆身長測定・体組成計測定 (35名)
- ☆血圧測定・血管年齢測定 (39名)

○医師の相談コーナー(家村先生・金井先生) 27名

○高齢者疑似体験(青磁野リハビリテーションセンター) 14名

○介護相談コーナー(西4地域包括支援センター) 38名



修復治療における診査診断と治療ゴール

——理想のゴールに到達するための治療の進め方——

はじめに

日常臨床の中で我々の行っている歯科治療は、レジン充填等の1歯単位の小さな修復処置から、クラウン・ブリッジ、インプラント、義歯といった多数歯に渡る修復治療まで多種多様である。その中には一見簡単そうに見えるが術後に大きな不安を残してしまうケースや、逆に複雑そうに見えてシンプルに対処できるケースもある。咬合の崩壊が著しく咬合再構成を余儀なくされるケースにおいては特に悩まされてしまう。また欠損部位や歯列に問題がある場合、インプラント、矯正といった治療が不可欠になるが、それ自体、適切に処置が行われなければ致命的となり、後戻りできない大きなリスクが付いてくる。安易に手を付けてしまったために予想外のトラブルにみまわれ、治療が進まなかったり問題を残したまま患者、術者双方の意に反する不幸な結果になりかねない。そこで治療をより確実なゴールに導くために何が必要で何が大切なのか、咬合再構成のケースを通して下記の順に沿って今一度考えてみたい。

1. 診査診断の重要性
2. 明確な治療ゴールの設定
3. 各ステップの確実なテクニック
4. 治療後の評価
5. メンテナンス

[ケース]

患者 52歳女性 職業 主婦

初診日 2003. 5

主訴 一週間前より左下の歯ぐきから出血排膿する。

咬むと痛い。

初診時 (a-1~7) 緊急処置として、78抜歯 (本来なら診断後に処置を始める a-6) その後基礎資料の収集を行い診断に入る。まず現状を把握することから始まり、問題点を挙げ、

清水歯科クリニック 清水 幹広

その原因の除去には何が必要か見つけなければならない。

【診断】

《問題点》

多数歯に動揺や出血、排膿を認める 64
421 124578

(ペリオの進行)

欠損 7 67

臼歯部での咬合支持の欠如VS (パーティカルストップ) の問題

前歯部のフレアーアウト 1 不安定なAG (アンテリアガイダンス)

歯牙の位置 (45間、21間、12間、34間にスペース)

《原因》

カリエス 2次カリエス

エンド

ペリオ

歯列

補綴 (適合や形態)

欠損部放置

力の問題 など複合的なものと考えられる

《原因を除去するためには》

初期治療 (カリエス、ペリオのコントロール)

AG (アンテリアガイダンス) VSパーティカルストップの確立

保存不可の歯牙は抜歯を行い同時に骨・歯肉のレベリングを期待する。

抜歯後欠損補綴

歯牙の位置の改善には、矯正が必要か？あるいは補綴だけで可能か？

矯正を行った場合、骨欠損の状態、抜歯適用部位や欠損部が多いため、数年かけて矯正を行ってもあまり優位性がなく、CR (顎頭安定位) での診断用Wax-up (b-1~3) から補綴のみでも咬合再構成が可能であると

初診時の口腔内写真



a-1 右側側面観

a-2 正面観

a-3 左側側面観



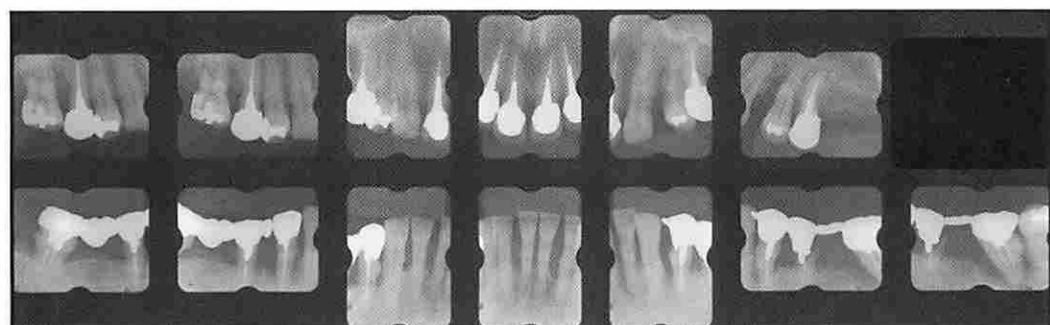
a-4 上顎咬合面観



a-5 下顎咬合面観



a-6 7,8初診時緊急処置として抜歯



a-7 初診時のデンタル

診断用Wax-up



b-1 正面観

b-2 上顎咬合面観

b-3 下顎咬合面観

診断した。

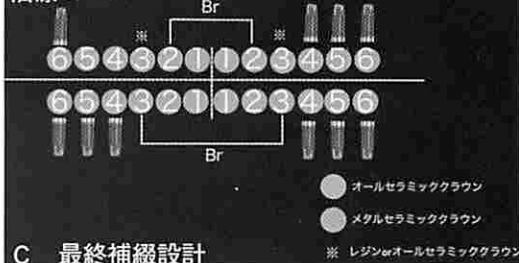
【治療ゴールの設定】

白歯欠損部インプラント、前歯部ブリッジ、
54単冠での補綴設計 (C) とした。治療ゴールの設定が明確になって治療の開始となる。

【各ステップの確実なテクニック】

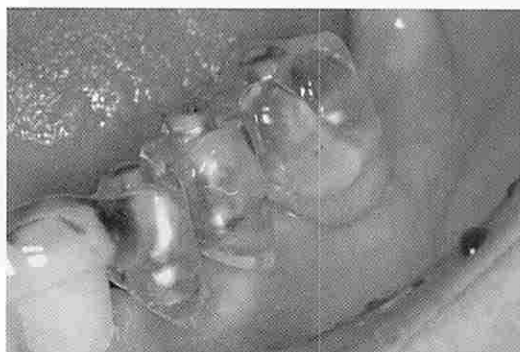
診断用Wax-upから起こしたサージカルステ

治療ゴール



Study

ンを用いてインプラントを埋入する。44は初診時の位置より近心に埋入するため、特にサージカルステント（d）は重要となる。インテグレーション後、PR（プロビジョナルレストレーション）（e）で、咬合の安定や形態を確認し最終補綴へ移行する。33は、形態と色調の改善から補綴処置とした。



d. サージカルステント



e. PR（プロビジョナルレストレーション）

【治療後の評価】

治療が終わった段階で治療後の評価を行い、今後の起こりうる問題点とその処置について患者によく理解してもらう。上顎前歯部ダミー部の歯肉の退縮に不安が残る。粘膜に対する圧が弱かったのか？このケースはガミースマイルの傾向にあり特に審美的に重要となるため、PRでの評価を慎重にするべきだった。問題が生じれば、補綴物の再製で対処する。

終了時の口腔内写真



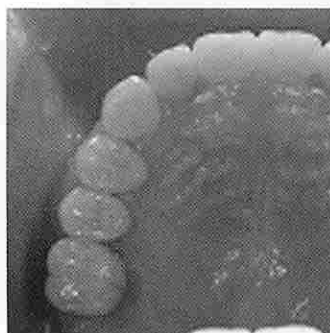
f-1 右側側面観



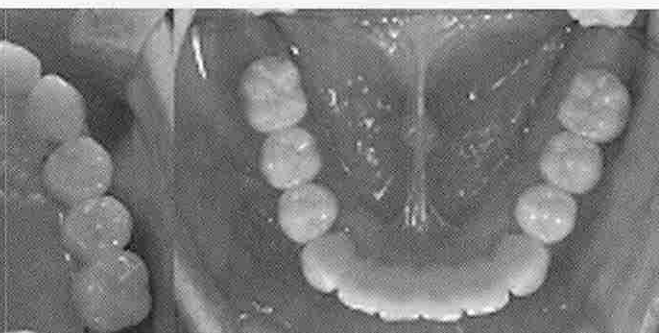
f-2 正面観



f-3 左側側面観



f-4 上顎咬合面観



f-5 下顎咬合面観

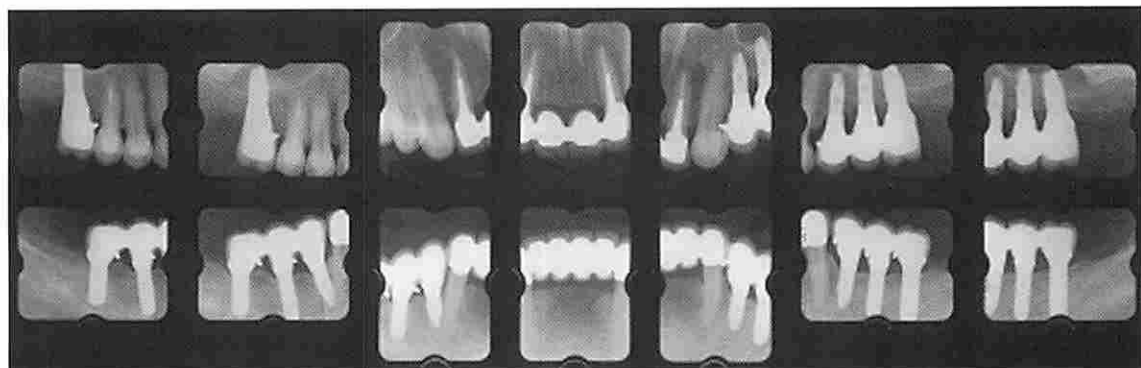


図6 術後のデンタル

インプラントや生活歯では破折のリスクは低い
が、失活歯の破折といった構造力学 (Structure)
の問題が残る。将来破折など抜歯適応となっ
た場合はインプラントで対応する。⑤はイン
プラント単冠で、②②に対しては、どちらか
が破折など抜歯適応となった場合

(#1②抜歯の場合) ②①①インプラントBr
②単冠

(#2②抜歯の場合) ②単冠 ①①②イン
プラントBr

となるが、将来の予知性を考慮し②①①②の
インプラントBrで対処する可能性があること
を伝える。(図1~6)

【メンテナンス】

カリエス、ペリオのコントロール 補綴物や
顎関節を含めた運動時のチェックを行う必要
があればX線撮影を行う。

まとめ

日常の臨床では、ほとんどが咬頭嵌合位での
部分的な修復治療である。しかし咬合崩壊が著
しく、咬合再構成を行い全顎的な治療が必要と
なる場合、補綴だけで対処可能か？矯正が必要
なのか？インプラントの埋入位置は？治療の順

序は？といった様に診断がつかないと治療を
開始することが出来ない。(正常像を理解するこ
とが重要)

治療ゴールを明確にしなければ、どこに向か
って進めばよいのか分からず、治療自体が終わ
らない。(将来的なことや患者の年齢なども考
慮する必要がある) そしてPRの脱離破折を繰
り返す場合は再度プレパレーションが必要であり、
また、歯肉の炎症が残っていれば印象採得は困
難であるため、初期治療やリマージングに後戻
りしなければならない。この様に、各ステップ
を確実にしていかなければ治療は進まない。

治療後の評価 最終補綴をSetしゴールへた
どり着けても、将来的なリスクの問題や対処法
について患者に理解してもらい、メンテナンス
により患者と協力して永続性を図っていくこと
が重要である。

最終補綴物装着によりあたかも治療が終了し
たように思いがちだが、本当の意味での治療ゴ
ールとは、咬合 (機能と審美が両立した補綴物)
が長期に安定しなければ意味がない。あくまで
歯科治療の最終目的は口腔内の健康維持である。

移動理事会

～カニ 三昧編～



年が明けて間もない1月7日午後2時50分、熊本港発島原行きオーシャンアロー号に乗り込んで、移動理事会の旅がはじまりました。今回は、古川先生のお世話で、佐賀県太良町の温泉宿でカニ三昧、鹿島市の日本酒の蔵元めぐりツアーとなりました。食いしん坊、飲んべえの多い（実は私だけ？）理事会メンバー諸氏の期待はいやがうえにも高まります。前日、中村勇一先生がお亡くなりになったため、親交の深かった稲葉先生と別件の用事のあった宮本先生を除く総勢13名でした。

オーシャンアロー号の2階の2テーブルを占拠し、藤波先生の差し入れのビールで早速、乾杯。幸い天候にも恵まれ、童心に帰って、デッ



キに出てカモメに餌をやる先生もいました。

乗船時間約30分で島原港に着くと、今夜の宿の鶴荘のマイクロバスがお出迎え。マイカーで来ていた渡辺洋先生の車に4人、小野先生の車に2人、残りの7人は



マイクロバスに乗り込みました。宿に向かう途中で、様々な問題を孕む諫早湾干拓事業の水門をみながらのトイレ休憩となりました。再び車に乗り込み一路、鶴荘をめざします。途中、ナニコレ珍百景にも取り上げられたという、小長井町のユニークなバス停の待合所を数々見かけ



ました。なんと、いちご、トマト、みかん、メロン、すいかの形をしておりました。これらの待合所を見て、清村会長の「熊本市に、こんながあったら、絶対人が住んどるよね。」の一言に、一同妙に納得。景気の回復を願うばかりです。



そうこうしているうちに、島原港から1時間半ほどで宿に到着。早速、旅装をとき、浴衣に着替えて大浴場へ。泉質は、ナトリウム炭酸水素塩泉で、美人の湯（大概の温泉はそういうらしいですが）として知られているそうです。ゆっくり体を湯船に沈めると、左手に有明海、右手に山の端に沈む夕陽が臨め、日頃の疲れもふっ



とび、ゆったりとした気分になります。日本人として生まれた喜びを実感できるひとときです。ここで熱帯をキューッと一杯できれば言うことないのになあと体に悪いことを考えてしまいます。

風呂から上がり、部屋で理事会を行いました。定款、規則の訂正点、在宅歯科診療、ビスフォ



スフォネート製剤に関する問題点等を協議しました。次いで、古川先生のお兄様に差し入れていただいた大吟醸「肥前蔵心権右衛門」、純米吟醸「東一」をみんなで、いただきました。普段お酒を全く飲めない合沢先生をも、うならせる味でした。

その後、宴会場に場所を移して、大宴会に突入。期待を遥かに超えるカニ三味の料理の数々。カニの刺身、茹でたカニ、焼きガニ、カニの天ぷら、おまけに大量の焼きガキまでありました。全員カニを食べるのに忙し

いようで、言葉少なく、アルコールの量もいつもよりも少なめでした。宿の若旦那に、この秋ヨーロッパの酒品評会でチャンピオンになった、今世界で多分ここにしか残っていない1本という「鍋島」大吟醸をだしていただき、その芳醇



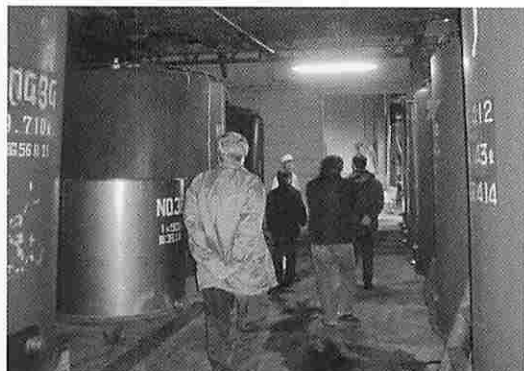
な味と香りに一同至福の時を味わっておいりました。宴会後、殆どの先生が、また風呂に入り、のみ足りない先生は、1階のカウンターバーで、日本酒、焼酎を飲んでおいりました。

翌朝。中村先生のご葬儀に参列する清村先生、熊本城マラソンの練習のある小野先生は、夜もまだ明けぬ4時半には出立。ゴルフ組の合沢、与儀、斉藤、渡辺洋の4人の先生は、7時半に長崎国際ゴルフ倶楽部に向けて出発。ゴルフ組を見送ったあと、田中先生と私は岸壁沿いを散歩し、対岸から昇る朝日とその光で薄緑色に映える有明海の神々しさに感動し、田中先生はさかんに、シャッターを切っていました。藤波、古川の両先生は片道30分の城址まで散歩したそ



うです。朝食後（これがなんとカニの炊き込みごはん）、藤波、蔵田、古川、田中、渡辺猛士、井手の6先生と私は、9時にマイクロバスで、蔵元巡りツアーに出発しました。

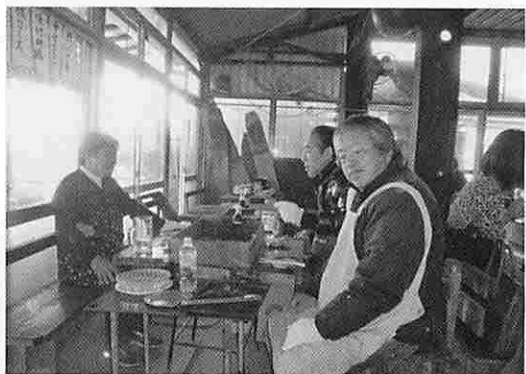
最初、「竹の園」「肥前蔵心」の矢野酒造を訪れ、社長による、日本酒の製法のわかりやすい、丁寧な解説を聞きながら、酒蔵見学をしました。



大吟醸、純米吟醸原酒、純米生酛の3種のお酒の試飲をさせていただき、みんな、社長お薦めの純米吟醸「肥前蔵心」を買い求めておいりました。

次に「王将」の峰松酒蔵場に行き、昭和30～40年代の居間を再現した昭和の部屋を見学しました。ちゃぶ台、白黒テレビ、ガス炊飯器、トースター、柱時計をながめ、昭和の少年たちは、古き良き時代に思いをはせ、感慨深げの様子でした。

昼食時には、太良の道の駅の漁師の館で、焼きカキを肴に生ビールを飲み、おにぎり、海鮮チャンポンで腹を満たしました。食後、お土産の海産物、お菓子などを買い、島原港にむかい、



島原港午後3時45分発のオーシャンアロー号で熊本港に到着、解散しました。ゴルフ組の先生は、次の便の船に乗られたようです。

美味しくて、楽しいツアーを企画していただいた古川先生、誠に有難うございました。太良のカニ、カキ、日本酒、最高です。理事の皆さん、また行きましょうね。

(厚生 瀬井知己)

天はわれに味方した！悪魔に打ち勝った私

〜〜移動理事会後の親睦ゴルフ〜〜

新年も明けて間もない1月7日、8日に佐賀で移動理事会が行われました。その報告は瀬井先生がたっぷりして下さるとの事で、私は8日に行った親睦ゴルフの事について報告させていただきます。

場所は「長崎国際ゴルフクラブ」、朝9時14分スタート、天候は快晴、絶好のゴルフ日和！旅館から現地まで1時間はかかると聞いて7時半に旅館を出発した。ところが連休中日と言う事も有り思いの他早く着いてしまったので、Y先生がごり押しして30分早くスタートさせてもらった。(恐るべし監事様!!)ところが、早くスタートすれば当然グリーンはまだアイスバーン、これは「はめられた」と感じたが、時すでに遅し、スタートが切られてしまった。実は行きの車の中で「昼飯でも賭けようか？」と話しを持ちだしたY先生と言う悪〜い人がいまして、3、4位の人が1、2位の人の昼飯をおごると言う事になってしまったのです。実力からして私が4位と言うのは明らかで、まあ昼飯ぐらいならと思い乗ったのですが、ライオンはどんな動物を倒す時も全力を尽くすがごとくY先生の



カニの炊き込み朝ごはん

計画は凄まじかった。それは前日の夜から始まっていたのです。蟹三味の食事中もY先生は日本酒の熱燗をぐびぐび呑み、食事が終わると早々に就寝モードに突入!!部屋に着くなり寝に入ったのです。それに呼応する様にW先生(社保理事)も就寝!私は二人の間に挟まれて眠くも無いのに無理やり寝る羽目に陥らされたのです。ところが、そこからが「地獄」

左からY先生、右からW先生の「いびき」の

嵐、方や押し波なら方や引き波と絶妙なコンビネーションで襲って来たのです。ときどき悪い物に「憑かれている」のでは?とも思える「う〜!う〜!」とか「ブファ〜」とか異音を発し、間で眠れる心境では到底無く、結局、うとうと小一時間ぐらいいしか眠れず朝が来てしまったのです。途中2〜3回合沢先生も起きていらしたので、端に寝ても寝れないんだと妙な安堵感を得たのが不思議でした。



朝、悪魔のお二人が爽快に起きられたのを観た時に、「あ〜私の今日は終わったな」と腹をくくったら、車の中でのY先生の悪魔のささやきですから、ほんとに「どんだけ〜!!」と叫びたかったです。ところがいざプレーしてみるとY先生、W先生とも絶不調、結局私と合沢先生が同スコアで3位Y先生4位W先生となり、悪魔に打ち勝った2人がめでたく「昼飯」をお御馳走になりました。メニューはもちろん「ちゃんぽん」と「皿うどん」でした。御本人達の名譽の為スコアは明かしませんが、正月早々「悪い事」を企んではいけませんよ「Y」先生!! 神様はちゃんと居るんですから。

補足ですが、Y先生はこの日の為にドライバーを購入され(打倒!稲葉先生だったみたいです)、W先生は「お城マラソン」の為に2カ月間、毎日走り込みをされていたそうです。

お二人とも、気力、体力、十分だったのに残念です!!しかし、めったに出す事の無いお二人の「珍プレー」を観ることができて、楽しい1日を過ごさせて頂きました。有難うございました!

同伴競技者: 合沢、与儀、渡辺洋、齊藤
(齊藤 忠継)

第1回 熊本城マ

2月19日(日)熊本城マラソンAM9:00スタート 長い1日の始まり。いろんなドラマが生まれたと思います。

これに向けて昨年10月より結成された歯知ろう会の諸氏10名(平均年齢48.2歳、フルマラソン初挑戦6名含)は、全員完走を達成されました。おめでとうございます。

また、サポートを目的に結成された本会AEDモバイル隊11名も4K、フルマラソンを自転車にて伴走し、事ある時はお役にたてるように研修・準備を重ね、当日に臨みました。

中盤にて軽傷の数名の方をサポートしたのみで何もなく終わることができたことは幸いでした。最後に、マラソン、モバイル隊合同で、打上げ会を行い、完走の感想(親父ギャグ?)や反省を各々語っていただき、来年に向けての決意を新たに閉会した。

モバイル隊の目で見えた熊本城マラソンをご覧ください。

追伸、撮影できなかった選手の皆さん、すみませんm(_ _)m。 次号に続く。



マラソン



〈フルマラソンメンバー〉

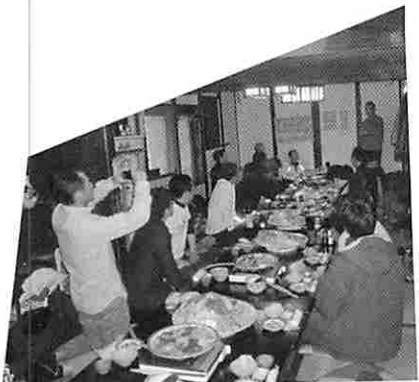
奥田良樹	小野秀樹	金本良久
川瀬博美	椿 賢	町田宗一郎
前田英俊	宮田正孝	吉崎久次
渡辺 洋		

〈4 Kマラソンメンバー〉

井手裕二 木村浩幸 友枝和夫
 *把握できた方のみ掲載致しました。

〈AEDモバイル隊メンバー〉

清村正弥	藤波好文	渡辺猛士
田中弥興	鈴木憲久	高松尚史
高橋 禎	磯野誠一	村上 慶
入佐弘介	山口英司	



(広報 田中弥興)

熊本城マラソン 全員完走までの道程

○完走を目指して

平成23年

- ・ 10月4日：参加者全員の顔見せと懇親会
各自の意気込みと自己紹介、その後近くの居酒屋『鶴重』にて懇親会
- ・ 10月16日：タイムトライアル
県立大小峰グラウンドにて。
4名参加
- ・ 10月23日：4時間走
江津湖の往復5210mのコースで20km以上走り続けた。参加者7名
- ・ 10月30日：タイムトライアル
県立大小峰グラウンドにて。5名参加
- ・ 11月：私が金峰三山山岳マラソンや天草マラソン出場のため、各自自由走り込みとして月150～200km走を指示。
- ・ 12月11日：水辺プラザ30km
上熊本駅から“熊鹿サイクリングロード”を水辺プラザまでリュックを担いでの30km走。走後は月出の我が家で2回目の打上げ。
5名参加
- ・ 12月23日：草枕探訪ラン 23km
藤崎宮に私の所属する“熊本てれっとウルトラマラソンクラブ”を中心に35名（デンタル会から7名）参加。夏目漱石が小説“草枕”を書ききっかけとなった金峰山・峠の茶屋を越え、草枕温泉“てんすい”まで。全員走破

平成24年

- ・ 1月8日：江津湖外周40km・5時間走
画図橋下にエイドステーションを設け、江津湖の外周10kmを4周、

東部3支部 奥田 良樹

デンタル会から6名+国立病院口腔外科から3名参加。打上げは“ばってんの湯”

- ・ 1月29日：小萩山トレイルラン20km
“城の湯”をスタート・ゴールとして小萩山を縦走。ゆっくり走で体幹作りのフォーム固めを行う。
5名参加
- ・ 2月19日：熊本城マラソン
この日は朝7時から歯科医師会館を借りてスタートまでの時間を過ごす。
ゴール後は坪井の居酒屋『鶴重』に5時集合。AEDを背にサポートした自転車隊10名と国立病院も加えた完走組13名で最高の打上げ!!。

○指導のポイント

- 一、キロ何分で走れるか、走るか自分の走力を知る。
- 一、体幹トレーニングでフォーム作り
骨盤の前傾、丹田（臍の下）、肩甲骨の三点がポイント
- 一、水、ボカリ、食材の取り方
- 一、寒さ、マメ、乳頭方策
寒さにはホッカイロ、マメには足の指と足の付け根にワセリン、乳頭はバンドエイドを貼っておかないとすれて切れ、出血する。
- 一、頑張りすぎない、あきらめない、粘りの走り

○私の本番の走り

5時間でゴールを目指してキロ6分40秒ペースでハーフまで来たら2時間27分と3分しか余裕がなく、27km地点で気合を入れ直そうとトイレに並んだら12分待たされ戦闘意欲消失…あとはチンタラ走となり、5時間41分でゴール。

私のすぐ後に吉崎先生がゴールしてきてビックリ！正直、彼はギリギリゴールか???と思っていた。彼のゴールは我が事のようにうれしかった!!

ろ、渡辺先生からいきなりデンタル会全員を代表して感謝状と記念品を贈るということでビックリ!!…全く予想もしていなかったが私の最高の宝物ができ、とてもうれしかった!!

○サプライズの宝物

全員完走し、“鶴重”で美酒を味わいながら参加者の完走に至るコメントを聞いていたとこ

第一回 熊本城マラソン結果表

平成24年 2月19日

1. 2301位	町田 宗一郎 (41才)	4:26:21
2. 2743位	渡辺 洋 (50才)	4:36:50
3. 3143位	椿 賢 (40才)	4:46:30
4. 3288位	川瀬 博美 (46才)	4:50:01
5. 3747位	前田 英俊 (51才)	4:59:33
6. 4759位	宮田 正孝 (47才)	5:28:44
7. 4959位	小野 秀樹 (48才)	5:35:25
8. 5192位	奥田 良樹 (65才)	5:41:54
9. 5217位	吉崎 久次 (47才)	5:42:47
10. 5304位	金本 良久 (47才)	5:45:32

※時間内(7時間) 完走者6848人 完走率93%

※エントリー総数 9862人 (男7259人、女1703人)



走ったん(ダ)！「熊本城マラソン」報告

東部 3 小野 秀樹

H24年2月19日9時、号砲と共に政令指定都市移行記念第一回熊本城マラソンが開催された。歯科医師会からも11名のフルマラソン参加、4キロの部にも多数の先生が参加され、熊本で行われた一大イベントを楽しむことが出来た。

事の始まりは、7月のビアパーティーでの席、せっかく熊本市が行うイベント、みんなで参加して盛り上げようという酒飲み話が発端。走れそうな先生方に声をかけ、あるいは噂を聞き集まった10人。とてもアスリートとは言え無い、中にはヨレヨレのメタボ中年も…。

マラソン未経験者も多数の為、走り方、練習方法を学ぶため、走暦30年の奥田良樹先生に指導をお願いした。この会、名付けて“歯知ろう会”10月に発足し4ヶ月間マラソンへ向けての練習開始となった。

参加メンバー

(a：年齢 b：マラソン経験 c：走り)

椿賢氏

a：40歳最年少 b：フル初挑戦 c：弱音を吐くが見上げた根性。あれほどやめられなかった煙草もついに本番前にやめる。

町田宗一郎氏

a：41歳 b：年1回(9年連続)フル経験者 c：怪しげな風貌とは裏腹にまじめな練習姿勢。ビールでは酔えないが口癖。

川瀬博美氏

a：46歳 b：20年前にフル経験1度あり c：練習への参加回数は少ないものの、スピードあふれる走り。軟庭で鍛えた足を武器にする。

吉崎久次氏

a：47歳 b：フル初挑戦 c：練習中から完走経験無し。自称アル中、最後まで喫煙をやめなかった強者。

宮田正孝氏

a：47歳 b：フル初挑戦 c：速くはないが師匠の教えを守り早朝より毎日10kmの練習を欠

かさない努力型。

金本良久氏

a：47歳 b：フル経験あり c：練習会には参加出来なかったが、短距離の強者。スタミナには自信あり。

小野秀樹氏

a：48歳 b：10年前にフル経験あり c：プレシーからか練習を積むも練習量にムラあり。

渡辺洋氏

a：50歳 b：フル初挑戦 c：とてもマラソンなんてと言っていたが、毎朝10kmの練習を欠かさない努力型。スピードは無いが30kmを超えても山道でもその走りは変わらない発動機型エンジン。

前田英俊氏

a：51歳 b：フル初挑戦 c：長いストロークで華麗に走るアスリートタイプ、坂道を得意とするストイックな走り。

奥田良樹指導者

a：65歳 b：走暦30年 c：言わずと知れた市歯きっての走り手。走りが生活、いや人生の一部となっている。

練習編

歯知ろう会発足の10月から会員に課せられた日課は腹筋、背筋、スクワット100回、月に200～300kmの走り込み、休日の20km程度の長距離走である。簡単に300kmと言うがこれは毎日10



kmこなさなければ実現が難しい。各自自主練の後12月に入ると練習会が企画された

12月11日

上熊本駅－(熊鹿ロード)－鹿本水辺プラザ(30km)

参加者：奥田、渡辺、小野、吉崎、宮田

熊鹿サイクリングロードは上熊本駅から植木を通り山鹿まで続く。もちろん車は通らず、植木あたりはこんもりした森の中、紅葉して落葉



した落ち葉の中を走る。

4時間強で鹿本水辺プラザへ到着。30kmの世界へ突入。吉崎氏は10kmあたりから遅れ始め残り10kmを歩き、ようやく到着。あきらめない根性が素晴らしい。練習会の後は決まって温泉と昼食(もちろんビールつき)がセットになっている。練習の後のビールが最高!!

12月23日

藤崎宮－峠の茶屋－草枕温泉(20km)

参加者：奥田、前田、渡辺、小野、宮田、町田、椿



熊本でれっとウルトラマラソンクラブの練習に同行させて頂いた。藤崎宮に集まった歯知ろう会とあわせて31名の多人数。藤崎宮を出発し岳林寺から小花草枕温泉までの草枕の道をたど

るコース。峠の茶屋まで登り。この登りは後にいい練習と知る。てれっとクラブは途中時間調整の為金峰山二ノ岳登山を行う。走ろう会のメンバー3人(前田、渡辺、小野)も負けじと登山。ただの登山とは違った達成感に浸る。ここで早くもビールを飲み至福の一時を味わう



草枕温泉入浴後はもちろん食事とビールでねぎらい酒をいただく。

年末年始は自主練を行い、身体がなまらないよう毎日走る事との指導をいただく。

1月8日

江津湖5時間走(30～40km)

参加者：奥田、小野、宮田、吉崎、町田、椿、国立病院より中島部長以下医局員2名

江津湖を周回、1周10km余りを5時間走り切る練習。いよいよマラソン本番を見据えた練習となる。7分/キロとゆっくりしたペースでの集団走。



多くの会員は30kmを超える走りができるようになっている。30kmを超えた所からの走りをどうするかがそれぞれの課題となった。

この後、運動公園4時間走で、走る時の姿勢、体幹を使った走り方のレクチャーを受けフォー



ムを体に覚えこませる。小萩山登山走でさらにフォーム固め、脚力強化を行い2月19日に備える。

ここまでの練習でメタボランナーと呼ばれていた面々はすっかりアスリートの身体となり、念願の全員完走も夢では無くなってきた。か、!?

いざ熊本城マラソン

待ちに待ったマラソン当日。会員は前日より興奮気味で早起きしたのか7時に会館に続々と集合する。大会本部の方針では7時に二の丸集合、上着を預けてスタートの通町筋へ移動だが、気温0度では体が冷えきってしまうことは明らかなので、会館にて朝食をとりスタート直前に出発することにした。

8時20分 会館ロビーにて準備運動を行い体を伸ばし筋肉をほぐす。



ここで奥田指導者よりマラソンの心得を教授いただく。

- ・30キロまではゆっくりと、それからがレースだ
- ・骨盤を前傾、胸を張り腕を引く
- ・頭を上げ、視線は20m先のお姉ちゃんのお尻に合わせる(目標となる形の良いお尻を探す

こと)

- ・疲れを感じる前に水分、栄養の補給をする
- 皆で高らかに頑張るぞコールを行い8時30分出発。

スタート地点まで軽くアップのために走る会員。並木坂から上通りはすでに4キロコースの整備が済んでおり、ランナーを待つばかりとなっている。

スタート順は走者が自己申告のタイムに合わせてブロック分けされている。ここで走ろう会



は分かれそれぞれのスタート地点に向かう。

9000人がひしめき合う通町筋、圧巻である。

スタートまでの時間がカウントダウンされるといやが上にも会場は興奮の真ただ中。

9時、30キロ熊日ロードレースがスタート。

9時2分いよいよ号砲と共に熊本城マラソンの



スタート。気持ちははやるが列はなかなか動かない。スタートまでに7分を要した。沿道の歓声。ランナーの為に空けられた車の通っていない道。晴天の空。どれをとっても素晴らしい。列はゆっくりと進み始める。

5キロ付近の平成大通りにさしかかると何やら低い音が聞こえる。ホラ貝だ。角岡秀昭先生

の応援のホラ貝が聞こえる。なんと甲冑姿だ。元気をもらえた。

途中、コースでは心配されていたトイレの問題が起こっていた。トイレの数が少ないためど



の仮設トイレにも長蛇の列が出来ている。10分から20分待つてやっとすませられる。いくら市民マラソンでもレースにならないとの声が聞かれた。

今回のコースには大小7回の橋を超えなければならなかった。しかし、この人数が走ってい



る姿を見られる橋の上は圧巻であった。

沿道の応援にも元気をもらった。特にハイタッチをしてくれる子供たちは心の支えになる。



マラソンは30キロからが勝負、と言われるよ

うに30キロを超えたアクアドーム辺りからがきつく、歩くランナーが増えてきた。菌知ろう会の会員もきっとこれまでの練習の成果を出し切る走り続けていることであろう。きつくても最後まで走り切ろう。時たま横を通る歯科医師会エイド自転車隊の先生からも応援いただき、気力を振り絞る。やはり42.195kmフルマラソンは楽ではない。強い気持が無いと走り切れない。



折れそうな気持ちに鞭打ち、やっとの思いでゴール。

8020を胸に走り切ることが出来た。

達成感、終わった安ど感、思った走りが出来なかった悔しさ、他の会員はどうだったかという心配、いろんな気持ちが入り混じったゴールであった。

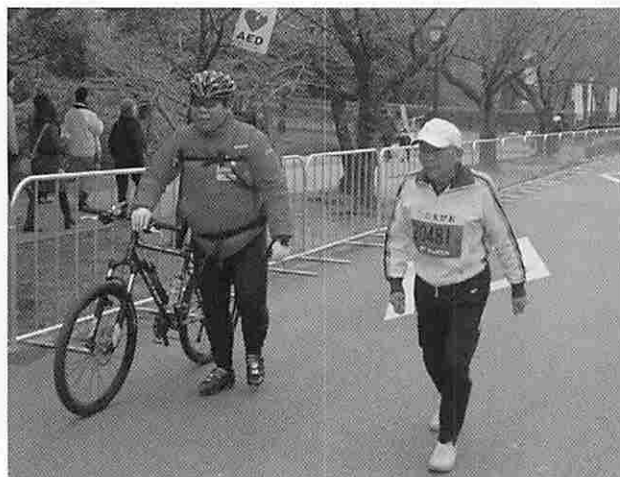
会館に集合した会員は「無事全員完走！」の知らせを聞き大喜び。心配された吉崎氏も最後まであきらめない粘りの走りで完走。奇跡が起こった。もちろんマラソンのあとは美酒を！5時から開かれたエイド隊合同祝賀会では飛びつきりうまいビールが飲み、酔いと心地よい疲労感で皆と共にこの熊本城マラソンを終えることが出来た。

第一回と名付けられたこのマラソン第二回へと続くはず。今回のマラソンを見ていて、ぜひ自分も走りたいと思う方は、お声をおかけください。練習会で一緒に走りましょう。必ず完走できるように練習していきましょう。

最後に、このメンバーが全員完走できたのも奥田良樹先生の指導のおかげです。メンバー一同、心より感謝いたします。ありがとうございました。

熊本城マラソンAEDモバイル隊奮戦記

南部支部 鈴木 憲久



2012年2月19日、晴れ渡る冬の空の下、万人のランナーが城下町、熊本を駆け抜けました。熊本の政令指定都市移行を記念して開催された第1回熊本城マラソンです。

当歯科医師会からも11名の先生方がフルマラソンに参戦、見事に全員が完走を果たされました。しかし、その記録に残るランナーとは別にマラソンに挑んだ11名の先生方がおられます。それが、熊本市歯科医師会AEDモバイル隊です。

ことの始まりは、熊本城マラソンに何かボランティア協力をできないだろうか。という渡辺猛士先生の発案でした。AED（自動体外式除細動器）スポーツイベント、ましてや1万人以上の参加者のうち半数近くがフルマラソンは初めてというイベントにおいて、絶対に起こってはならぬこと、それは心臓のトラブルによる事故です。もし、コース上で心臓発作を起こしたランナーがいたら、そのランナーの命を救えるか否かはいかに早くAEDを使用し、CPR（心肺蘇生）を行えるにかかっている、といっても過言ではありません。そのためには、そのランナーとAEDとの距離を1メートルでもあるいは救命救急の時間を1秒でも短縮することが

必要であり、それはランナーのそばに救急救命技術を持ち、AEDが使用できる術者がいること、そのきわめてシンプルな発想で、AEDモバイル隊はAED（一次救命処置）を修得したドクターがAEDを背負って自転車で伴走するという方策を採ることとなりました。

この渡辺先生の呼びかけに応じたドクターは、清村会長を筆頭とする10名でした。

1月25日に歯科医師会館にて顔合わせをしたAEDモバイル隊は、渡辺先生から現状までの説明を受け、熊本城マラソンでの救護体制は以下のような状況であることが

わかりました。

1. 医師会とACLS協会で開催した熊本城マラソンメディカルサポートは、4キロマラソンは対象としていない。
 2. フルマラソンのコース上14カ所に救護所は設置され、救護所の定点と救護所間を往復する巡回するモバイル隊にAEDを配備する。
 3. ランナーに伴走する、いわゆるAEDを持ったランニングドクターは配備されていない。
- その状況を踏まえた上で、ソフトとハード、両面からモバイルAED隊は戦略を練ることにしました。

まず、先陣を切って1月28日に渡辺先生が、1月29日に私、鈴木がフルマラソンコースを試走、2月5日には渡辺先生、清村先生、高松先生、磯野先生、入佐先生、私の7名で小雨の降る中、コースを試走しました。

AEDモバイル隊は自転車で伴走ですので、その運用に関しては、それぞれの体力と自転車の性能とで様々な特徴があり、この試走で解ったそんな特徴を踏まえて布陣を考えるのが、渡辺先生の腕の見せ所と相成りました。

さて、それと平行して国内のフルマラソン大会におけるCPA（心肺機能停止）の発生頻度

と傾向の文献を渉猟し、当日のフルマラソンの作戦を立てつつ、我々11名のみでサポートに当たることとなった4キロマラソンの作戦を練り始めました。

1千名が走り、スタートとゴールにしか救護所もAEDもない4キロマラソンをたった11名でいかにサポートするかという作戦は、ボード上にスタートから1分経過ごとのシュミレーションを展開させ、全員の運用シミュレートしつつ検討されました。

結果、11名の誰が欠けても守備に穴が出てさらに、11人全員がすべて行動パターンが違うというまさに「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を地で行く作戦が組みあがりました。

かくして、BLSの再トレーニング、装備品の検討と確認を経て大会当日支給された深紅のウィンドブレイカーを着て、福田電子提供のAED専用、深紅のアタックザックを背負い、幟旗と通信アンテナを背中に立ち上げた11名の熊本市歯科医師会AEDモバイル部隊は、切望していた快晴の空の下、朝日に照らされつつ歯科医師会館を出発していきました。



2月19日午前8時30分、配置完了。

マラソンは、午前9時から30キロロードレース、フルマラソン、4キロマラソンの順に摂氏4度の冬の朝とも思えぬ熱気の中、歴史的スタートを切ります。

4キロマラソンの前半は、パルコ前をスタートし、上通りへ左折、広町を経由して坪井川沿いを再び通町筋へ戻ってくるルートです。

市の担当者や警察当局と交渉を繰り返すも、結局アーケードコース上での自転車の乗車が認められなかったため、着ぐるみや仮装の最後尾ランナーと共に最後尾を走るのが自転車を押した藤波先生でした。

藤波先生が最後尾を追い上げていく中、広町の田中先生は、坪井川に沿って行幸坂へ、坪井川角に配置された磯野先生は先頭集団を伴走し新市街へ。

同じく坪井川沿いに配置されたロードレーサーに乗るチーム最速の入佐先生と登坂能力に優れる山口先生は、藤波先生の姿を確認して千葉城町の坂を二の丸目指して駆け上ります。

ほぼ中央に近い場所で指揮を執るホテルキャッスル前の渡辺先生は行幸坂を登り、日本郵政前の高橋先生は市民会館前へ。

対して、パルコ前のスタート地点に配置していた私は、藤波先生とハイタッチして、交通規制で人っ子一人いない市役所前の中央レーンを花畑町へ爆走。

ランナーの群は、清村先生、村上先生、高松先生の待つ、下通り、サンロード新市街、辛島町へと駆け抜けてゆきます。

実にスタートしてわずか12分後には、先頭ランナーがゴールし、その段階で最後尾はまだ広町にいました。

かくして、加藤神社前から行幸坂沿いにモバイル隊が全員集結。



幸山熊本市長に伴走されて、スタートから88分後、86歳の最後尾ランナーがゴールした時には、その後方に寄り添うように、渡辺先生と入

佐先生の姿がありました。

4キロマラソンは、転倒なども含めた1名の負傷者も出さずに終了し、とりあえず胸をなで下ろしたモバイル隊は一路、フルマラソンのサポートに向かうべく、交通規制で一台の車も走らない熊本の幹線道をアクアドームへと向かいました。

我々が渉猟し得た文献によると、フルマラソンでのCPAの85%は、35キロより先で起きています。そこで、我々は熊本新港手前の30キロ地点から先でACLS協会のモバイル隊とは別働の独立遊撃隊として独自に行動を開始しました。そして、ランニングドクターとなるべく二人一組のバディでランナーの中に入り、熊本城を目指します。当然、ランナーを少し追い越してゆく程度の、ゆっくりとした速度で走りますが、第一高校前の最終関門までたどり着くと、そこから今度はコースを逆走し哨戒任務を継続します。

途中、沿道からはランナーのみならず我々AEDモバイル隊にもありがたい声援が送られました。



レース終盤、ほんの数歩で関門を通過できないランナーたちの無念さを見守りつつ、最終ランナーが最終関門を通過した3時30分、モバイル隊の任務は終了となりました。

市長と県知事が出迎えた最終走者は、最終パートを担当したACLS協会のモバイル隊4人を従え、6時間58分でゴールテープを切りました。

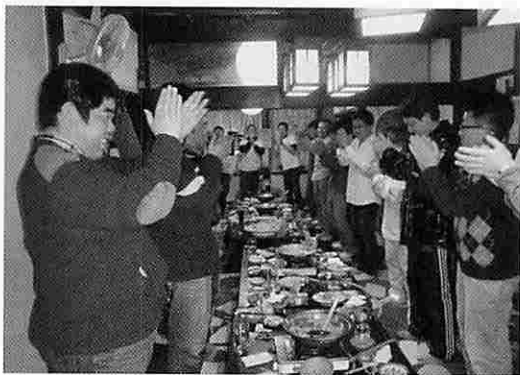
かくして、熊本が燃えた冬のイベントは幕を閉じたのですが、結局全区域においてAEDの

使用は一件もなく、本当の意味での大成功に終わることができたと思っています。

オトコノコというのは昔からヒーローにあこがれます。痛む足を引きずりつつもゴールを切るランナーは、誰が見ても文句なしのヒーローです。ですが、そんなランナーたちの命を守る、実はランナーと変わらないくらい熱いライダーたち。これが、AEDモバイル隊であったと思っています。まだ、正式にアナウンスはありませんが、来年も熊本城マラソンは開催されることでしょう。

BLSの資格の有無、自転車の善し悪しは関係ありません。実際、40キロ近い速度で巡航可能なロードレーサーや、30度の坂も上れるマウンテンバイクに混じって、今回60キロ近い距離を走った、漢と書いて男と読む、高松先生と高橋先生、それに藤波先生は通勤通学用のごく普通の自転車でした。必要なのは、人の命を救いたい、という熱い想いだけ。

来年の2月、熊本市歯科医師会AEDモバイル隊2013は、そんな熱い方のご参加をお待ちいたしております。来年は、一緒に名も無きヒーローになってみませんか？



新人です！よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 いづみ あさみ 泉 朝望
 診療所名 歯ならびの歯医者さん
 (診療所) 〒860-0084
 熊本市山室 5-6-7
 電話／096-245-7224 FAX／096-245-7427
 生年月日 昭和51年 5月21日
 趣 味 読書、旅行
 経 歴 熊本県立熊本高校
 昭和大学
 昭和大学矯正歯科 8年間勤務



氏 名 おかざき しんや 岡崎 信也
 診療所名 おかざき歯科クリニック
 (診療所) 〒861-4225
 熊本市城南町東阿高21番 2
 電話／0964-28-7773 FAX／0964-28-1114
 生年月日 昭和41年 9月11日
 趣 味 テニス、野球観戦、麻雀
 好きな言葉 成せば成る
 経 歴 広島県立賀茂高等学校
 鹿児島大学
 阿蘇立野病院 2年間勤務
 新地ハロー歯科診療所12年間勤務



氏 名 うえの ひろあき 上野 啓之

診療所名 うえの歯科医院

(診療所) 〒862-0910

熊本市健軍本町52-3 ティコルハイム 1 F

電話／096-365-5786 FAX／096-365-5786

生年月日 昭和57年 4 月30日

趣 味 読書、体を動かすこと

経 歴 熊本県立熊本高校

九州大学

伊藤歯科医院 2 年間勤務





スポーツの広場



あつまるデンタル・ゴルフ会

1月15日

16名

			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	河合	隆一	38	45	83	17	66
2位	山室	紀雄	46	46	92	25	67
3位	明受	清一	49	47	96	28	68
4位	本田	治夫	49	49	98	29	69
5位	田村	実雄	48	46	94	25	69
B.B.	大森	秀則	50	57	107	25	82

熊本デンタル

12月30日

			OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	工藤	隆弘	47	45	92	19.2	72.8
準優	神戸	威	49	53	102	27.8	74.2
3位	三笥	司	45	45	90	14.1	75.9
4位	千場	正昭	50	48	98	21.7	76.3
5位	元島	博信	48	46	94	17.1	76.9
B.B.	甲斐	利博	55	47	102	16.9	85.1

2月19日

11名

			OUT	IN	GRO	HD	NET
優勝	浜坂浩一郎		51	50	101	29	72
2位	宮崎	幸一	49	45	94	17	77
3位	本田	治夫	50	54	104	26	78
4位	河合	隆一	46	43	89	11	78
5位	北川	隆之	46	47	93	12	81
B.B.	関	剛一	53	55	108	22	86

1月22日

			OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	神戸	威	46	46	92	24.0	68.0
準優	甲斐	利博	40	44	84	15.2	68.8
3位	松本	光示	39	41	80	7.2	72.8
4位	元島	博信	48	42	90	17.2	72.8
5位	小田	和人	48	45	93	20.0	73.0
B.B.	秋山	清	53	52	105	20.6	84.4



会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
11月22日	会務・会計・庶務報告
12月21日	会務・会計・庶務報告
1月24日	会務・会計・庶務報告

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
12月1日	11/26熊本市歯科医師会、学術講演反省会 第3回学術講演会打ち合せ
1月12日	第3回学術講演会について 来年度の事業計画について
2月4日	第3回学術講演会

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
11月28日	返戻、再審査の流れと審査のしくみについて
12月16日	1月個別指導の対応について 基金との勉強会の整理
1月20日	事前指導の反省会 電子レセプトについて 処方せんについて 個別指導について

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
11月29日	歯みがき巡回指導後期報告 シティFM報告 地域歯科保健研修会報告
12月10日	子供の虐待防止講演会について 歯みがき巡回指導後期報告 衛生士会のアンケート結果報告
1月25日	企業健診について 県学校保健会協議会報告 熊本県障がい児歯科保健推進協議会報告 熊本市学校保健会第3回理事会報告 熊本市小児保健会について 定款説明会について 点数改正説明会について

地 域 保 健 委 員 会

月 日	協 議 題
11月16日 12月 7 日 1 月19日	歯の祭典打ち合せ 歯の祭典打ち合せ 平成23年度ヘル歯－元気8020支援事業実施の説明 歯の祭典打ち合せ

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
11月11日 12月15日 1 月12日 1 月26日	新年パーティーの打ち合せ 新年パーティーの打ち合せ 新年パーティーの打ち合せ 新年パーティーの打ち合せ

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
11月11日 11月25日 11月30日 12月16日 1 月31日	中岳第155号レイアウト 中岳第 1 稿編集 かわら版打ち合せ 取材分担について 中岳第155号第 2 稿編集 かわら版12月号編集 かわら版編集 中岳第156号目次 かわら版 2 月号

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
11月10日 12月 8 日 12月15日 1 月26日 1 月27日	歯科救急蘇生講座 救急蘇生実習 医療相談 保険給付外基準料金表の作り直し カレンダー作製料の見積りについて 国立機能病院での有病者、口腔外科研究会について カレンダー作製担当者打合せ ひとり親について 新年会パーティーについて 2月の講演会等について スタッフセミナーについて シティFMについて 任期について 医療相談

編集後記

先日第一回の熊本城マラソンを応援にいきました。
小雪ちらつく中、初めて生で見たフルマラソンの大会にちょっと感動しました。
歯科医師会の先生で参加された方も全員完走されたそうで、素晴らしい一言です。
来年は私も参加してみようかな。
あっ、もちろん4キロコースで。

(M・A)

熊本市歯科医師会会誌

第 156 号

発行日 平成24年3月15日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目4番15号

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kdc8020/>

[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者

清 村 正 弥

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木3丁目12-37

TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294